

平成19年度 町単独災害関連ふるさと歴史小図書館建設工事

図 面 リ ス ト

D-1	設計概要書	D-21	構造特記仕様書 (RC造-5)
D-2	建築工事特記仕様書 1	D-22	構造特記仕様書 (RC造-6)
D-3	建築工事特記仕様書 2	D-23	構造特記仕様書 (RC造-7)
D-4	建築工事特記仕様書 3	D-24	基礎伏図、基礎詳細図
D-5	建築工事特記仕様書 4	D-25	軸組・柱・梁伏図・リスト
D-6	建築工事特記仕様書 5	D-26	(木部)小屋伏図, 屋根伏図
D-7	建築工事特記仕様書 6		
D-8	建築工事特記仕様書 7		
D-9	仕 上 表		
D-10	配置図・(外構図)・敷地面積表		
D-11	平 面 図		
D-12	立 面 図		
D-13	矩計図 (収蔵庫)	E-1	電気設備工事特記仕様書
D-14	詳細図 (棚)	E-2	電灯・コンセント設備図
D-15	建具・雑リスト		
D-16	構造設計標準仕様書		
D-17	構造特記仕様書 (RC造-1)		
D-18	構造特記仕様書 (RC造-2)		
D-19	構造特記仕様書 (RC造-3)		
D-20	構造特記仕様書 (RC造-4)		

図書060 リスト



仕 様 書

工事概要	平成19年度 町単独災害関連ふるさと歴史小図書館建設工事		
1. 工事場所	上伊那郡箕輪町東箕輪(北小河内)		
2. 敷地面積	図 示 m ²		
3. 工事種目	新 築	・ 床面積	33.64 m ²
			m ²
	・ 構造	鉄筋コンクリート造	平屋
4. 工事範囲	設計図書に示された範囲とする。		
5. 設計図書	本工事における設計図書及び優先順位は下記とする。 1) 質疑応答書 2) 現場説明記録 3) 建築工事特記仕様書・電気設備工事・機械設備工事特記仕様書(長野県仕様)に準ずる 4) 一般設計図書 5) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成19年版 6) 建築工事標準詳細図 (全て最新版)		
6. 記 録	完成図その他 ・ 箕輪町の定める提出物とする。 材料試験 ――― 監督員の指示によるものとし、原則として公的機関で行うものとする。 手続き等 ――― 本工事における手続き等は請負者の負担とする。(建築確認申請、完了検査申請以外) 社内検査 ――― 請負者は、各工事を完了した場合社内検査を実施し、結果を監督員に報告し、承諾後に監督員が指示指定承諾認定検査及び、試験を行っても、当該工事に関する責は、請負者に有るものとする。		

4. 工事範圍

・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲全て	
3 土工		
4 地盤工事		
5 鉄筋工事		
6 コンクリート工事		
7 鉄骨工事	[別 途]	
8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	[別 途]	
9 防水工事		
10 石工事	[別 途]	
11 タイル工事	[別 途]	
12 木工		
13 屋根及びとい工事		
14 金属工事		
15 左官工事		
16 建具工事		
17 カーテンウォール工事	[別 途]	
18 塗装工事		
19 内装工事		
20 ユニット及びその他の工事		
21 外 構		

建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）」（以下、「標仕」という。）による。

(2) 上記仕様書による以外は下記による

○建築工事監理指針	
○建築工事標準詳細図	国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修（最新版）
○公共住宅標準詳細設計図集	（最新版）
○木造住宅工事共通仕様書	住宅金融普及協会（最新版）（特に建築金物類）
○木造建築工事標準仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
○鉄筋コンクリート構造配筋要領	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
○鉄骨設計標準図	建築大臣官房官庁営繕部監修（平成2年版）
○工事写真の撮り方（改訂版）建築編	建築大臣官房官庁営繕部監修
○長野県建築工事写真撮影要領	長野県住宅部施設課制定
○建築関係書類等作成の手引（公共建築工事管理第4編）	長野県住宅部施設課制定
○建築工事公害災害防止対策要綱 建築工事編	建築省建築経済局建設業課 住宅局建築指導課監修
○工事現場の環境改善及び建築副産物の適正処理実施要領	長野県住宅部制定

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。

○ 印と ○ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の（別 ）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。

(6) ㊤ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

項 目	特 記 事 項
① 適用基準等	<p>○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 平成13年版）</p> <p>○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>○工事現場の環境改善及び建設副産物の適正処理処理実施用綱</p> <p>○書類作成</p>
2 工事実績情報の登録	適用する (1.1.4)
3 品質計画	<p>・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1.2.2)</p> <p>風速（$V_0 =$ ）</p> <p>地表面粗度区分（ ・ ・ ・ ）</p> <p>・積雪区分 建告示第1455号 別表（ ）</p> <p>・</p>
4 電気保安技術者	<p>工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、 (1.3.3)</p> <p>電気工作物の保安の業務を行うものとする。</p> <p>・要 ・不要（電気設備工事に含む）</p>
5 条件明示項目	(1.3.5)
⑥ 発生材の処理等	現場説明書による ○構外搬出適切処理 (1.3.8)
⑦ 建築材料等	<p>本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとする。</p> <p>（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること</p> <p>（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること</p> <p>（３）安定的な供給が可能であること</p> <p>（４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等取得していること</p> <p>（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること</p> <p>（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること</p> <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。</p> <p>また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。</p>
⑧ 化学物質を放散する建築材料等	<p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。</p> <p>１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>３）接着剤はフタル酸ジ-<i>n</i>-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p>

⑨ 特別な材料の工法

10 技能士

11 化学物質の濃度測定

⑫ 完成図等

○監督員の指示するものを提出すること。

⑬ 完成写真

⑭ 設備工事との取合い

⑮ 設計 G L

⑩ 工事写真

5) 1)、3) 及び 4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の
什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

規制対象外

JIS及びJASのF 規格品

建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品

下記表示のあるJAS規格品

- a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
- b. 接着剤等不使用
- c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
- d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
- e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
- f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

第三種

JIS及びJASのF 規格品

建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品

旧 J I S の E o 規格品

旧 J A S の F c o 規格品

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

通用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	◎鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	◎型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工　・中空押出セメント板施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴムシート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　◎シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	◎建築大工
屋根及びとい工事	◎建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	◎左官
建具工事	◎サッシ施工　◎ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	◎塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

(1.5.9)

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること。

測定はパッシブ型採取機器により行う。

着工前の測定 ・ 行う

測定対象室 ・ 収蔵庫(1)(2) ・

測定箇所数 ・ 2ヶ所 ・

報告の様式等については監督員の指示による。

○作成する ・ 作成しない (1.7.1-3) (表1.7.1)

○完成図	提出部数	○各2部	・	部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R))
○施工計画書	提出部数	○3部	・	部
○施工図	提出部数	○3部	・	部
○保全に関する資料	提出部数	○3部	・	部

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ（mm）
○カラー ○キャビネ版 べた焼 （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）	外部（ 4 ）内部（ 4 ）	○2 ・ 6	○100×125以上 ・
カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ）内部（ ）	2	
○電子データ	外部（ ）内部（ ）	2	200万画素以上 300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。


撮影業者 ○監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

図示 ○設計 G L = 現状 G L



・「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

○監督員と打ち合わせを行い承諾受ける事。

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING	 <div> <div>株式会社</div> <div>エー・アロッド・ユー設計事務所</div> </div> <div> 一級建築士事務所登録 上伊 D 第 1X093号 一級建築士登録第 168045号 管理建築士伊藤 智 長野県上伊那郡箕輪町大字中曽根 297-2 TEL (0265)79-0797 ・ FAX (0265)79-0533 </div>	SHEET NO. 図書D02a
	平成19年度 町単独災害関連ふるさと歴史小図書館建設工事	特記仕様書 1		H20.6	● ● ●	● ● ●		D — 2

仮設工事	②	① 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による 1号 10㎡程度 (2.3.1)	鉄筋工事	⑤	鉄筋の種類	(5.2.1) (表5.2.1)	鉄骨工事	7	鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 (7.1.3) ・監督職員の承諾する製作工場 ・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(検討)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。																										
	②	工事用水	構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる(有償・無償) (2.3.1)		②	鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ガス圧接 ○重ね継手 (5.3.4)		2	施工管理技術者	入熱、バス間温度の溶接条件 適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 図示 ・																										
土工事	③	③ 工事用電力	構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる(有償・無償) (2.3.1)	鉄筋工事	③	鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。 (5.3.5) ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。	鉄骨工事	3	鋼材	適用する (7.1.4)																										
	①	埋戻し及び盛土	種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 (3.2.3) (表3.2.1) ・建設汚泥から再生した処理土 ㊦		4	既製コンクリート杭の杭頭補強	・A形 ・B形 図示 (5.3.1) (別1.1)		3	鋼材	構造用鋼材 (表7.2.1)																										
地業工事	④	② 建設発生土の処理	現場説明書による ○構外搬出適切処理 (3.2.5) ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し	鉄筋工事	⑤	最上階柱頭補強	行う ・行わない (別2.1)	鉄骨工事	4	スクラップ	改良型スクラップ																										
		1 既製コンクリート杭地業	種類 (4.3.1~2) 高強度プレストレストコンクリート杭 ・ <table><tr><td></td><td>杭径 (mm)</td><td>杭長 (m) 及び種別</td><td>継手数</td><td>セット数</td><td>備考</td></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 杭頭の処理 切断しない ・ (4.3.7) 先端部形状 開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2) 杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。 (4.3.6) 施工法 (4.3.3~5) ・特定埋込み杭工法 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法 H13国交告1113号第6による支持力算定式で ≧250程度を採用できる工法 杭周固定液 ・使用する ・セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による			杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別		継手数	セット数	備考	試験杭												本杭												⑥	帯筋
	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考																																
試験杭																																					
本杭																																					
地業工事	④	2 場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3) (表4.5.1) ()種かつ()N/㎡以上 鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3) 堀削工法 ・アースドリル工法(・安定液使用 ・無水堀削) (4.5.4) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない) (4.5.5) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.5) ・掘底杭工法(安定液使用 ・) 側壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4) セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による	鉄筋工事	⑦	壁開口部の補強	一般壁 ・A形 ○B形 ○図示 (床下換気口他) (別4.2) (別表4.3~4) 耐震壁 図示	鉄骨工事	6	高力ボルト	トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.12.4)																										
		③ 砂利地業	○再生クラッシュラン ㊦ ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3)		8	梁貫通孔の補強形式	H形 ・MH形 ・M形 (別7.1) (別表7.1~3)		7	溶接部の試験	AOQL 4.0% ・2.5% (7.6.11) 検査水準 第6水準 ・図示 (7.6.11) (表7.6.2)																										
地業工事	④	4 床下防湿層	施工箇所 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) t=0.15mm (4.6.6)	鉄筋工事	⑧	コンクリート躯体表面の処理	設計基準強度 18N /mm ² 粗骨材の最大寸法 25mm(捨てコン) (6.14.3) 外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N /㎡ 以上かつ、2.5分/㎡ 以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ 20mm ○施工範囲は図示による。 適用及び適用箇所について 標仕19章内装工事14断熱材による。	鉄骨工事	7	溶接部の試験	試験の種別 試験箇所 試験方法 超音波探傷試験 完全溶込み溶接部 標仕7.6.11(b)による ・図示 ・放射線試験 ・マクロ試験																										
		⑩ 型枠	せき板の種類 ○打放用型枠(地上部分) ○普通型枠(地上部分)		8	耐火被覆	(7.9.2~6) 種別 所要性能及び適用構造部位 ・ラス張りモルタル塗り ・耐火材 吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・耐火板張り		9	アンカーボルトの保持及び埋込み工法	・構造用アンカーボルト (図示 ・) ・建方用アンカーボルト (・A種 B種 ・C種) (7.10.3) (表7.10.1) ベースバック工法 A種 ・B種 (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)																										
地業工事	④			鉄筋工事	9	断熱材兼用型枠	無収縮モルタル 混和材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210(ボルトランドセメント)による普通または早強ボルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 配合比 (各重量比) (セメント+混和材)：砂=1：1	鉄骨工事	10	柱底均しモルタル工法																											

7 鉄骨工事	11 溶融亜鉛めっき工法	<div>(7.12.3) (表14.2.2)</div> <table><tr><th>亜鉛めっきの種類</th><th>材 料</th><th>適用部位</th></tr><tr><td>A種</td><td>最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>B種</td><td>最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板</td></tr><tr><td>C種</td><td>普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td></tr></table> <p>索地ごしらは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。</p>	亜鉛めっきの種類	材 料	適用部位	A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板		B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	⑤ シーリング	<div>(9.6.2) (表9.6.1)</div> <table><tr><th colspan="2">施工箇所</th><th>シーリング材の種類 (記号)</th></tr><tr><th colspan="2">建築工事共通仕様書</th><th>「被着体の組み合わせとシーリングの種類」による</th></tr><tr><th>種 別</th><th>耐 久 性</th><th>材 種</th></tr><tr><td>・ A種</td><td>9030G</td><td>・シリコンシーリング材 (1成分形) 高モジュラス形</td></tr><tr><td>・ C種</td><td>8020</td><td>○変成シリコンシーリング材 (2成分形)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ポリウレタンシーリング材 (2成分形)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○ポリサルファイド系シーリング材</td></tr></table>	施工箇所		シーリング材の種類 (記号)	建築工事共通仕様書		「被着体の組み合わせとシーリングの種類」による	種 別	耐 久 性	材 種	・ A種	9030G	・シリコンシーリング材 (1成分形) 高モジュラス形	・ C種	8020	○変成シリコンシーリング材 (2成分形)			・ポリウレタンシーリング材 (2成分形)						○ポリサルファイド系シーリング材																																																																					
	亜鉛めっきの種類	材 料	適用部位																																																																																																								
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板																																																																																																										
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																										
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																																										
施工箇所		シーリング材の種類 (記号)																																																																																																									
建築工事共通仕様書		「被着体の組み合わせとシーリングの種類」による																																																																																																									
種 別	耐 久 性	材 種																																																																																																									
・ A種	9030G	・シリコンシーリング材 (1成分形) 高モジュラス形																																																																																																									
・ C種	8020	○変成シリコンシーリング材 (2成分形)																																																																																																									
		・ポリウレタンシーリング材 (2成分形)																																																																																																									
		○ポリサルファイド系シーリング材																																																																																																									
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	空洞ブロック16 ・空洞ブロック16 - W (8.2.2)	10 石工事	1 天然石張り	<div>(10.2.1) (表10.2.1～2)</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>種 類</th><th>産地・名称</th><th>厚さ (mm)</th><th>仕上げの種類</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>図示</td><td>図示</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	種 類	産地・名称	厚さ (mm)	仕上げの種類				図示	図示																																																																																												
	施工箇所	種 類			産地・名称	厚さ (mm)	仕上げの種類																																																																																																				
			図示	図示																																																																																																							
2 コンクリートブロック 帳壁及び塀	標仕表8.3.1及び下表による (8.3.2)	<table><tr><th colspan="2">適用箇所</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁 ・ライニング部</td><td></td><td>・100</td></tr><tr><td rowspan="2">・塀</td><td>高さ 2 m以下</td><td>・120</td></tr><tr><td>2 mを超える</td><td>・150</td></tr><tr><td colspan="2">・衛生配管用裏積みブロック</td><td>・100 ・</td></tr></table>	適用箇所		厚さ (mm)	・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁 ・ライニング部		・100	・塀	高さ 2 m以下	・120	2 mを超える	・150	・衛生配管用裏積みブロック		・100 ・	2 テラゾ張り	<div>(10.2.1) (表10.2.2)</div> <table><tr><td>種石の種類</td><td>大理石 ・</td><td></td></tr><tr><td>表面仕上げ</td><td>本磨き ・</td><td></td></tr><tr><td>形状・寸法</td><td>図示</td><td></td></tr></table>	種石の種類	大理石 ・		表面仕上げ	本磨き ・		形状・寸法	図示																																																																																	
適用箇所		厚さ (mm)																																																																																																									
・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁 ・ライニング部		・100																																																																																																									
・塀	高さ 2 m以下	・120																																																																																																									
	2 mを超える	・150																																																																																																									
・衛生配管用裏積みブロック		・100 ・																																																																																																									
種石の種類	大理石 ・																																																																																																										
表面仕上げ	本磨き ・																																																																																																										
形状・寸法	図示																																																																																																										
3 ALCパネル	<div>(8.4.2～6) (表8.4.3～4)</div> <table><tr><th>種 類</th><th>単位荷重 (N / m²)</th><th>厚さ (mm)</th><th>取付け工法種別</th></tr><tr><td>・外壁パネル</td><td>・1180 ・1960</td><td>100 ・</td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>・間仕切壁パネル</td><td></td><td>100 ・</td><td>・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種</td></tr><tr><td>・屋根パネル(天井)</td><td>・980</td><td>100 ・</td><td rowspan="3">標仕8.4.6による</td></tr><tr><td>・床パネル</td><td>・2350 ・3530</td><td>・100 ・150</td></tr><tr><td colspan="4">・床パネルの耐火性能 (・1時間 ・2時間)</td></tr></table>	種 類	単位荷重 (N / m ²)	厚さ (mm)	取付け工法種別	・外壁パネル	・1180 ・1960	100 ・	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	・間仕切壁パネル		100 ・	・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種	・屋根パネル(天井)	・980	100 ・	標仕8.4.6による	・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150	・床パネルの耐火性能 (・1時間 ・2時間)				3 壁の石張り工法	<div>(10.3.2～3) (10.5.2～3)</div> <p>外壁石張り 工法 ・外壁湿式工法 (流し筋工法 ・) ・乾式工法 石裏面処理 ・行う (・小口共) 裏打ち処理 ・行う ドレインパイプ ステンレスSUS304 ・</p> <div>(10.4.2～3) (10.5.2～3)</div> <p>・内壁石張り 工法 ・内壁空積工法 (あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法) ・乾式工法 裏打ち処理 ・行う</p>																																																																																	
種 類	単位荷重 (N / m ²)	厚さ (mm)	取付け工法種別																																																																																																								
・外壁パネル	・1180 ・1960	100 ・	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種																																																																																																								
・間仕切壁パネル		100 ・	・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種																																																																																																								
・屋根パネル(天井)	・980	100 ・	標仕8.4.6による																																																																																																								
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150																																																																																																									
・床パネルの耐火性能 (・1時間 ・2時間)																																																																																																											
4 押出成形セメント板 (ECP)	<div>(8.5.2～6) (表8.5.1～2)</div> <table><tr><th>種 類</th><th>表面形状</th><th>厚さ (mm)</th><th>幅 (mm)</th><th>工法種別</th></tr><tr><td rowspan="3">・外壁パネル</td><td>F ・ F - R</td><td></td><td></td><td rowspan="2">・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>D ・ D - R</td><td></td><td></td></tr><tr><td>T ・ T - R</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">・間仕切パネル</td><td>F ・ F - R</td><td></td><td></td><td rowspan="2">・ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>D ・ D - R</td><td></td><td></td></tr><tr><td>T ・ T - R</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="5">耐火性能 ・有り () ・無し</td></tr></table>	種 類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法種別	・外壁パネル	F ・ F - R			・ A 種 ・ B 種	D ・ D - R			T ・ T - R				・間仕切パネル	F ・ F - R			・ B 種 ・ C 種	D ・ D - R			T ・ T - R				耐火性能 ・有り () ・無し					4 床及び階段の石張り	<div>(10.6.2) (10.1.5)</div> <p>床石張りの裏面処理 ・行う 屋内のワックス掛け ・行う</p>																																																																						
種 類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法種別																																																																																																							
・外壁パネル	F ・ F - R			・ A 種 ・ B 種																																																																																																							
	D ・ D - R																																																																																																										
	T ・ T - R																																																																																																										
・間仕切パネル	F ・ F - R			・ B 種 ・ C 種																																																																																																							
	D ・ D - R																																																																																																										
	T ・ T - R																																																																																																										
耐火性能 ・有り () ・無し																																																																																																											
④ 防水工事	1 アスファルト防水	<div>(9.2.2～3) (表9.2.3～8)</div> <table><tr><th>種 別</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>A - 2</td><td></td></tr><tr><td>・ A - 2</td><td></td></tr><tr><td>D - 2</td><td></td></tr><tr><td>・ B - 2</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table> <p>アスファルト 3種 ・4種 (9.2.2) 断熱工法の断熱材 厚さ (mm) 25 ・ (9.2.2) ただし、特定フロンを含まないもの。</p> <p>立上り部の保護 ・乾式保護材 押出成形セメント板 (厚さ 15mm) (9.2.5)</p>	種 別	施工箇所	A - 2		・ A - 2		D - 2		・ B - 2		・		11 タイル工事	1 陶磁器質タイル	<div>(11.2.1)</div> <table><tr><th colspan="2">タイルの種類</th><th>形状寸法 (mm)</th><th>きじ</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>再生材の適用</th><th>備考</th></tr><tr><td>施工箇所</td><td></td><td></td><td>磁器 せっ陶 陶器</td><td>施ゆう無ゆう</td><td>あり なし</td><td>標準 特注</td><td>適用</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td>・ ・ ・</td><td></td></tr></table> <p>役物：標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする タイルの見本焼き 行わない ・行う (外壁タイル ・)</p>	タイルの種類		形状寸法 (mm)	きじ	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	備考	施工箇所			磁器 せっ陶 陶器	施ゆう無ゆう	あり なし	標準 特注	適用					・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・					・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・					・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・					・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・					・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・					・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・					・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・					・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	
	種 別	施工箇所																																																																																																									
A - 2																																																																																																											
・ A - 2																																																																																																											
D - 2																																																																																																											
・ B - 2																																																																																																											
・																																																																																																											
タイルの種類		形状寸法 (mm)	きじ	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	備考																																																																																																			
施工箇所			磁器 せっ陶 陶器	施ゆう無ゆう	あり なし	標準 特注	適用																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																				
2 改質アスファルトシート防水	<div>(9.3.2～4) (表9.3.1)</div> <table><tr><th>種 別</th><td>・AS - 1 ・AS - 2</td><th>厚 さ</th><td>()</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td colspan="3">・</td></tr></table>	種 別	・AS - 1 ・AS - 2	厚 さ	()	施工箇所	・			2 張り付け用材料	<div>既成調合モルタル</div> <table><tr><th>保水率 (%)</th><th>単位容積質量 (kg / l)</th><th colspan="2">接着強さ (N / mm²)</th><th>長さ変化率 (%)</th><th>曲げ強さ (N / mm²)</th></tr><tr><td>70.0以上</td><td>1.80程度</td><th>標準時</th><th>温冷繰返し後</th><td>0.20以下</td><td>4.0以上</td></tr></table> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・第三種 (11.2.3)</p>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg / l)	接着強さ (N / mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N / mm ²)	70.0以上	1.80程度	標準時	温冷繰返し後	0.20以下	4.0以上																																																																																				
種 別	・AS - 1 ・AS - 2	厚 さ	()																																																																																																								
施工箇所	・																																																																																																										
保水率 (%)	単位容積質量 (kg / l)	接着強さ (N / mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N / mm ²)																																																																																																						
70.0以上	1.80程度	標準時	温冷繰返し後	0.20以下	4.0以上																																																																																																						
3 合成高分子系 ルーフィングシート 防水	<div>(9.4.2～3) (表9.4.1)</div> <table><tr><th>種 別</th><th>厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th><th>仕上げ塗料塗り</th><th>使用分類</th></tr><tr><td>・S - F 1</td><td>1.2 ・</td><td></td><td>・シルバー</td><td rowspan="5">非歩行 ・軽歩行</td></tr><tr><td>・S - F 2</td><td>2.0 ・</td><td></td><td>・カラー</td></tr><tr><td>・S - M 1</td><td>1.5 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・S - M 2</td><td>1.5 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・S - M 3</td><td>1.2 ・</td><td></td><td></td></tr></table>	種 別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類	・S - F 1	1.2 ・		・シルバー	非歩行 ・軽歩行	・S - F 2	2.0 ・		・カラー	・S - M 1	1.5 ・			・S - M 2	1.5 ・			・S - M 3	1.2 ・			3 壁タイル張りの工法	<div>(11.3.3) (表11.3.2)</div> <p>内装タイル 壁タイル接着剤張り ・種上げ張り</p> <p>外装タイル 密着張り ・マスク張り 躯体表面の処理 ・行わない 行う (施工範囲 図示 ・) 躯体表面の処理方法 MCR工法又は目荒し工法 (6章コンクリート工事) 下地モルタル塗り 標仕15.2.2～15.2.5 タイルの試験張り 行わない ・行う (外壁タイル ・) (11.2.1)</p>																																																																														
種 別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類																																																																																																							
・S - F 1	1.2 ・		・シルバー	非歩行 ・軽歩行																																																																																																							
・S - F 2	2.0 ・		・カラー																																																																																																								
・S - M 1	1.5 ・																																																																																																										
・S - M 2	1.5 ・																																																																																																										
・S - M 3	1.2 ・																																																																																																										
4 塗膜防水	<div>(9.5.2～3) (表9.5.1～2)</div> <table><tr><th>種 別</th><th colspan="2">施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・X - 1</td><td colspan="2"></td><td>仕上げ塗料塗り</td></tr><tr><td>・X - 2</td><td colspan="2"></td><td>・シルバー ・カラー</td></tr><tr><td>・Y - 1</td><td>地下外壁防水</td><td></td><td>Y - 2工法の保護シート</td></tr><tr><td>・Y - 2</td><td></td><td></td><td>適用する ・適用しない</td></tr></table> <p>脱気装置 ・設ける 材質 () 設置数量 (m² 当たり 1箇所)</p>	種 別	施工箇所		備 考	・X - 1			仕上げ塗料塗り	・X - 2			・シルバー ・カラー	・Y - 1	地下外壁防水		Y - 2工法の保護シート	・Y - 2			適用する ・適用しない	4 陶磁器質タイル型枠 先付け工法	<div>(11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)</div> <table><tr><th>種 別</th><th>適用タイル</th><th>タイル型枠先付け面のせき板</th></tr><tr><td>タイルシート法</td><td>・小口タイル</td><td rowspan="3">標仕6.9.3 [材料] (b) (2) 又は 金属製タイル先付け用パネル ・</td></tr><tr><td>・目地樹工法</td><td>・二丁掛タイル</td></tr><tr><td>・桟木法</td><td>大型タイル</td></tr></table>	種 別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板	タイルシート法	・小口タイル	標仕6.9.3 [材料] (b) (2) 又は 金属製タイル先付け用パネル ・	・目地樹工法	・二丁掛タイル	・桟木法	大型タイル																																																																										
種 別	施工箇所		備 考																																																																																																								
・X - 1			仕上げ塗料塗り																																																																																																								
・X - 2			・シルバー ・カラー																																																																																																								
・Y - 1	地下外壁防水		Y - 2工法の保護シート																																																																																																								
・Y - 2			適用する ・適用しない																																																																																																								
種 別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板																																																																																																									
タイルシート法	・小口タイル	標仕6.9.3 [材料] (b) (2) 又は 金属製タイル先付け用パネル ・																																																																																																									
・目地樹工法	・二丁掛タイル																																																																																																										
・桟木法	大型タイル																																																																																																										
⑫ 木工事	① 木材の品質	○標仕12.2.1 ・市販品 (12.2.1) ・保存処理木材を適用する箇所 () 標仕表12.2.3による ○杉 JIS規格品 上小節 (12.2.1) (表12.2.3) 米桐 JIS規格品 1等 ・代用樹種を適用しない箇所 ...監督員と打ち合わせを行うこと 化粧木部、上小節 ・杉 (12.2.2)	⑬ 屋根及び とい工事	④ 接着剤	<div>(12.2.6)</div> <p>接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤 (以下、「ユリア樹脂等」という。)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ○規制対象外 ・第三種</p>																																																																																																						
② 樹種 (○図示による)	③ 集成材等 ㊦	⑤ 防腐・防蟻処理		行う箇所 (土台、柱(見え掛り以外・土間コンクリート上端より1mの範囲)) 防腐処理 ○行う (土間コンより1 m以内木部) (12.2.8) 防蟻処理 ○行う (土間コンより1 m以内木部) (12.2.9) 防腐、防蟻処理の種類、品質 表面処理用木材保存剤 (防腐・防蟻剤) は監督職員の承諾するものとする。																																																																																																							
6 床板張り	<div>(12.7.1) (表12.7.1)</div> <table><tr><td rowspan="2">下張り用床板</td><td>無し</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>・有り</td><td>合板張り ・板張り</td><td>ホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 ・第三種</td></tr><tr><td>床板</td><td>単層フローリング (標仕19.5.2による) ○カーフロー-</td><td colspan="2">ホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 ・第三種 久松同等 ○規制対象外</td></tr></table>	下張り用床板	無し			・有り	合板張り ・板張り	ホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 ・第三種	床板	単層フローリング (標仕19.5.2による) ○カーフロー-	ホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 ・第三種 久松同等 ○規制対象外		1 長尺金属板葺	<div>(13.2.2～3) (表13.2.1)</div> <table><tr><th>屋根葺形式</th><th>長尺金属板の種類</th><th>板厚 (mm)</th></tr><tr><td>・ 横平葺 ・ 心木無瓦葺葺 ・ 立平葺</td><td>・ ガルバリウム鋼板 (シリング 使用)</td><td>0.4</td></tr></table> <div>(13.3.2～3) (表13.2.1)</div> <table><tr><th>形 式</th><th>重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形</th></tr><tr><td>形状 (mm)</td><td>山高 (90) 山ピッチ () 板厚 0.6 ・0.8</td></tr><tr><td>材 料</td><td>塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)</td></tr><tr><td>(規格等)</td><td>・</td></tr><tr><td>軒先面戸板</td><td>有り ・無し</td></tr><tr><td>断 熱 材</td><td>有り (種別： 厚さ： mm) ・無し</td></tr><tr><td>耐火性能</td><td>30分耐火 ・無し</td></tr></table>	屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚 (mm)	・ 横平葺 ・ 心木無瓦葺葺 ・ 立平葺	・ ガルバリウム鋼板 (シリング 使用)	0.4	形 式	重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形	形状 (mm)	山高 (90) 山ピッチ () 板厚 0.6 ・0.8	材 料	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)	(規格等)	・	軒先面戸板	有り ・無し	断 熱 材	有り (種別： 厚さ： mm) ・無し	耐火性能	30分耐火 ・無し																																																																									
下張り用床板	無し																																																																																																										
	・有り	合板張り ・板張り	ホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 ・第三種																																																																																																								
床板	単層フローリング (標仕19.5.2による) ○カーフロー-	ホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 ・第三種 久松同等 ○規制対象外																																																																																																									
屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚 (mm)																																																																																																									
・ 横平葺 ・ 心木無瓦葺葺 ・ 立平葺	・ ガルバリウム鋼板 (シリング 使用)	0.4																																																																																																									
形 式	重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形																																																																																																										
形状 (mm)	山高 (90) 山ピッチ () 板厚 0.6 ・0.8																																																																																																										
材 料	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (CGLCCR-20-AZ150)																																																																																																										
(規格等)	・																																																																																																										
軒先面戸板	有り ・無し																																																																																																										
断 熱 材	有り (種別： 厚さ： mm) ・無し																																																																																																										
耐火性能	30分耐火 ・無し																																																																																																										
3 とい	材 種 配管用銅管 ・硬質塩化ビニル管 (13.5.2) (表13.5.1) ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 (REP-VU) ガルバリウム鋼板 加工 t - 0.5 既製軒樋、壁樋 鋼管製といの防露 標仕表13.5.5による (13.5.3) (表13.5.5) 防露材のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・第三種 掃 除 口 有り ・無し	④ 日本瓦葺	○詳細は図面、内訳書参照																																																																																																								

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING	<div> アロフト・アーバン</div>	<div> エー・アンド・ユー設計事務所</div>	一級建築士事務所登録 上伊D第1X093号 一級建築士登録第168045号 管 理 建 築 士 伊 藤 智 長野県上伊那郡箕輪町大字中曽根 297-2 TEL (0265)79-0797 ・ FAX (0265)79-0533	SHEET NO.図書004a D — 4
	平成19年度 町単独災害関連ふるさと歴史小図書館建設工事	建築工事特記仕様書 3		H20.6	・ ・ ・	・ ・ ・				

⑭
金属工事

① ステンレスの表面仕上げ

2 軽量鉄骨壁下地

3 軽量鉄骨天井下地

4 雑金物

5 金属成形板張り

6 アルミニウム製笠木

⑦ 手すり及びタラップ

(14.2.1)

種類	施工箇所
○H L 程度	下記以外の見え掛かり全て
・No. 2 B 程度	
・鏡面仕上げ	
・	

スタッド、ランナー等の種類 *14.5.1表による

19型(屋内) ・ 25型(屋外)

・カーテンレール (既存品再利用)
材種 ステンレス製
形状 D型又は角型

・ノンスリップ
材種 ステンレス製
形状 ビニールタイヤ入り
両端フラットエンド 有(*ステンレス・ビニル製)

・床カマチ
材種 ・SUS 2.0t
形状 ・コ型

(14.6.2) (表14.2.1)

形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理
・スパンドレル形	・押出し	アルミニウム製		・0.5mm	・B・1種
・パネル形	・ロールプレス	・スチール製		・1.6mm	・B・2種()

伸縮調整継手 設けない ・設ける(施工箇所は図示)

(14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1)

種類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考
・250形	1.6以上	A-1又はB-1種 ・B-2種()	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上			
・350形	2.0以上			
・100形				
・				

(14.2.1) (14.8.2~3) (表14.2.2)

種類	材料の種類	表面処理
○手すり	○ステンレスSUS304	○H L 程度 ・鏡面程度 ・
	・鉄 (38.1×2.3)	亜鉛めっき 外部 C 種 ・ 内部 E 種 ・ 塗装装
タラップ	ステンレスSUS304	研磨無し ・
	・鉄	亜鉛めっき 内外部 C 種 ・

⑮
左官工事

① モルタル塗り材料

② 床コンクリートの直均し仕上げ

③ 防火材料

④ 下地処理

⑤ モルタル塗り

(15.2.2)

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm ²)	界面破壊率(%)
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

(15.2.2)

防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

膨張性のひび割れ及びそりが無いこと。

(表6.2.4) (15.3.1~2)

施工箇所	平たんさ(mm)	備考
床下部	○1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
フリーアクセスフロア(溝橋法)範囲	3mにつき7以下	

○屋内の壁及び天井の仕上材は防火材料、又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示の有るものとする。

吸収調整材(製造所名)

砂の塩分含有量 ○0.04%以下

既製目地材 ○使用する ・使用しない

⑯
左官工事

6 仕上塗材仕上げ

(15.5.2) (表15.5.1)

種類	呼び名	仕上りの形状等	
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・	
	・可とう形外装薄塗材 S i	・	
	○外装薄塗材 E	○砂壁状(ｼｮｰﾊﾞｯﾄ、ｱｸﾘﾙｼﾝ同等品) ・着色骨材砂壁状	
	・内装薄塗材 E	砂壁状じゅらく ・珪藻土	
	・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	
	・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状	
	・外装薄塗材 S	砂壁状	
	・内装薄塗材 C	・	
	・内装薄塗材 L	・	
	・内装薄塗材 S i	・	
	・内装薄塗材 W	京壁状じゅらく	
	・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・ゆず肌状 ・凸部処理 凹凸模様
・可とう形複層塗材 C E		耐候性 3種 ・	
・複層塗材 S i		上塗材	
・複層塗材 E		溶媒 水系 ・溶剤系	
○複層塗材 R E		樹脂 アクリル系	
・複層塗材 R S		・	
・防水形複層塗材 C E		外観 つやあり ・つやなし	
・防水形複層塗材 E		・メタリック	
・防水形複層塗材 R E			
・防水形複層塗材 R S		防水形の増塗材 行う	
・軽量骨材仕上塗材		・吹付用軽量塗材	砂壁状
		・こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量

○規制対象外 ・第三種

防火材料の指定

屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

⑰
建具工事

① 見本の製作等

② アルミニウム製建具

③ 網戸

④ 鋼製建具

5 鋼製軽量建具

6 ステンレス製建具

7 自動ドア開閉装置

8 自閉式上吊り引戸装置

9 木製建具

(16.1.4)

(16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
○A 種	S - 4	○A - 3	○W - 4	○70	図示 ・ 図示
・B 種	S - 5	・	・	・	図示 ・
・C 種	S - 6	A - 4	W - 5	100	図示 ・

表面処理 B - 1種 ・B - 2種(・ブラウン系 ○ブラック ・ステンカラー) (表14.2.1)

屋内建具

表面処理 C - 1種又はB - 1種 (表14.2.1)
・C - 2種又はB - 2種(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)

(16.2.3)

防虫網

網の種類 ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)

形式 ○外部可動式 ・固定式

(16.3.2) (表16.3.1)

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

耐風圧性の適用は建具表による

特定防火設備の戸 ○適用あり(収蔵庫)

(16.4.2)

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

耐風圧性の適用は建具表による

表面仕上げ H L 程度 ・鏡面仕上げ ・

(16.5.4)

曲げ加工 普通曲げ ・角出し曲げ(補強あり)

(16.5.5)

特定防火設備の戸 ・適用あり

(表16.5.1)

(16.8.2~3) (表16.8.1~3)

開閉方法	センサの種類
スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ・光線スイッチ ・熱線スイッチ ・電子マットスイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ

・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)

(16.9.2~3)

品質規格 標仕値16.9.1による
・製造所標準仕様による

(16.6.2)

ふすまの上張り

(表16.6.3)

新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く) ・鳥の子

(16.6.2)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量

規制対象外 ・第三種

⑱
建具工事

⑩ 建具用金物

⑪ ガラス

⑫ ガラス留め材及び溝

13 ガラス用フィルム

14 重量シャッター

15 軽量シャッター

16 オーバーヘッドドア

⑰ 防火戸

(16.7.4)

(16.3.6) (16.4.6)

マスターキー 製作する ○製作しない

錠類はシリンドー箱錠(レバーハンドル)とする

なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける

(16.7.2)

吊金物

○丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)

・ピボットヒンジ

(16.13.2)

(16.13.5)

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	防火性能
・正方形	・	・	クリア	無し
・長方形				・有り

ガラス留め材 (16.13.2) (表9.6.1)

建具の種類	材種
アルミニウム製	○シーリング材 ・ガasket (FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	シーリング材
ステンレス製	シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

(16.13.3)

標仕16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会

JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を

監督職員に提出する

(16.10.2)

シャッターの種類

・一般重量シャッター 耐風圧性能() N/m²

・外壁用防火シャッター 耐風圧性能() N/m²

・屋内用防火シャッター

・屋内用防煙シャッター

開閉機能 上部電動式(手動併用) ・上部手動式 (16.10.2) (表16.10.1)

危害防止機構

障害物感知装置(自動閉鎖型)

・シャッターの二段降下方式

一般重量シャッターのシャッターケース 設ける ・設けない (16.10.2)

開閉形式 手動式 ・上部電動式(手動併用) (16.11.2) (表16.11.1)

スラット 材質 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・カラ・鋼板 (16.11.3)

形状 インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (16.11.4)

ガイドレール等 鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) (表16.11.2)

耐風圧性能 () N/m²

(16.12.2~3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能 () N/m²

建築基準法に基づく認定を受けたものとする。

MEMORANDUM

TITLE


ITEM


SCALE

DATE

CHECK

DRAWING





一級建築士事務所登録上伊D第1X093号
一級建築士登録第168045号
管理建築士伊藤 智
長野県上伊那郡箕輪町大字中曽根 297-2
TEL (0265)79-0797 ・FAX (0265)79-0533

SHEET NO.図書D05a

D 5

17
カーテンウォール工事

1
メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類（17.2.2）

種類	規格等
アルミニウム製	標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式（・単純2辺支持構法　・SSG構法）
・スバンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.6.1による（9.6.2）（17.2.2）（表9.6.1）

被着体の組合せ		シーリング材の種類	
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス		
	石、タイル		
ガラス	ガラス		

構造用ガasket　適用しない（17.2.2）
・適用する（施工箇所：図示）
断熱材　適用しない（17.2.2）
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所　図示　）
製品の寸法許容差　標仕表17.2.1による（17.2.3）（表17.2.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理（17.2.3）（表14.2.1）

種別	色彩等
・A-1種　・B-1種	無着色
・A-2種　・B-2種	ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜　塗装材料（　）焼付け方法（　）コート（　）ベーク	

耐風圧性能（17.1.3）
性能値　建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状態
4m以下	±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能（17.1.3）
設計用震度　水平方向（KH）　1.0　・
垂直方向（KV）　0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	状態
鉄骨造	±（1/100）×h以上 ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造	±（1/200）×h以上	
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	

水密性　・W-4　・W-5　・（17.1.3）
気密性　・A-3　・A-4　・（17.1.3）
耐火性能　適用しない　・適用する（　時間、施工箇所：図示）
映像調整　行わない　・行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2
PCカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
コンクリートの種類及び品質（17.3.2）
標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋　SD295A　・
取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質（14.2.3）（表14.2.2）

金物種類及び部位	内　部	外　部
PC版打込み金物	E種　・	A種　・
PC版打込み取付けボルト	E種　・	ステンレスボルト
2次ファスナー	E種　・	A種　・
取付けボルト	E種　・	A種　・
レベル調整ボルト	E種　・	A種　・
・	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

17
カーテンウォール工事

シーリング材料
下記以外は標仕表9.6.1による（9.6.2）（17.3.2）（表9.6.1）

シーリング材の種類	
施工箇所	記号
カーテンウォール板間目地	

断熱材　適用しない
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所　図示）
製品の寸法許容差　標仕表17.3.1による（17.3.3）（表17.3.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ（　）
耐火材料

施工部位	種別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能（17.1.3）
性能値　建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m²以上に対して安全であること。
耐震性能（17.1.3）
設計用震度　水平方向（KH）　1.0　・
垂直方向（KV）　0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	状態
鉄骨造	±（1/100）×h以上 ・	部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造	±（1/200）×h以上	
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	

⑬
塗装工事

① 材料
② 素地ごしらえ
3 床用塗料塗り
4 防塵用塗料塗り
⑬
内装工事

① 接着剤
2 ビニル床シート張り
ノンスリップ仕様
3 ビニル床タイル張り

19
内装工事

4 帯電防止床タイル張り
5 ビニル幅木
6 カーペット敷き
7 合成樹脂塗床
⑧ フロアリング張り
9 畳敷き
畳の種類
A種
10 ポリスチレンフォーム床下地材

(19.2.2)

種　　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	2　・	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0X10 ⁹ 以下、または、
・	・	漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	1.0X10 ¹⁰ 未満

高さ（mm）　60　・75（19.2.2）
・織じゅうたん（19.3.3～4）（表19.3.1～2）

種　別	バイル形状	色柄等	備　考
・A種	・カットバイル	無地 ・柄物（標準品） ・	
・B種	・ループバイル		
・C種	・カット、ループバイル併用		

耐電性　人体帯電圧3kV以下　・
・タフテッドカーベット（19.3.3～4）（表19.3.2）

バイル形状	バイル長（mm）	工　法	備　考
・カットバイル	5～7　・	全面接着工法 ・グリッパー工法	
・ループバイル	4～6　・		
・レベルループバイル	4　・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性　人体帯電圧3kV以下　・
・タイルカーベット（19.3.3）（表19.3.2）

バイル形状	種　類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備　考
ループバイル	第一種 ・第二種	500×500 ・	6.5 ・	
・カットバイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）
(19.4.2～3）（表19.4.1～7）

種　　別	仕上の種類
・弾性ウレタン塗床材	平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（　平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（　平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量（19.4.2）
規制対象外　・第三種
(19.5.2～7）（表19.5.1～4）

種　　別	樹　種	工　法	仕上げ塗装等	備　考
天然木化粧複合フローリング ・（WPC加工品）	なら ・久松	釘どめ工法（C種）	塗装品 ・無塗装品	
⑧フロー（t12）	・	・（既製品）	・	ワックスかけ共
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　規制対象外　・第三種（19.5.2）
(19.6.2）（表19.6.1）

下地の種類		畳の種類	
標仕表12.5.1による床組	B種　・		
ポリスチレンフォーム床下地	C種　・		

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする
畳下地　厚さ（mm）　40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　80　・95

MEMORANDUM

平成19年度　町単独災害関連ふるさと歴史小図書館建設工事

ITEM

建　築　工　事　特　記　仕　様　書　5

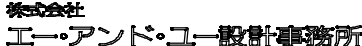

SCALE

DATE

H20.6

CHECK

DRAWING



一級建築士事務所登録 上伊D第1x093号
一級建築士登録第168045号
管理建築士伊藤 智
長野県上伊那郡箕輪町大字中曽根　297-2
TEL (0265)79-0797　FAX (0265)79-0533

SHEET NO 図書006a

D　　—　　6

⑬内装工事	⑪せっこうボード その他のボード張り	<table><tr><th colspan="5">(19.7.2) (表19.7.1)</th></tr><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th colspan="3">厚さ (mm)</th><th>規格等</th></tr><tr><td>・硬質木毛セメント板</td><td>H W</td><td>㊦</td><td>・ 15</td><td>・ 20</td><td>・ 25</td><td>・</td></tr><tr><td>・普通木毛セメント板</td><td>N W</td><td>㊦</td><td>・ 15</td><td>・ 20</td><td>・ 25</td><td>・</td></tr><tr><td>○けい酸カルシウム板</td><td>0.8 F K</td><td></td><td colspan="3">タイプ2 (無石綿) (㊦6</td><td>・ 8</td><td>・ 12</td><td>・</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧吸音板</td><td>D R</td><td></td><td colspan="3">フラットタイプ (9 (不燃)</td><td>・ 12</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">・ 凹凸タイプ (12 (不燃)</td><td>・ 15</td><td>・ 19</td><td>・</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧吸音板 (軒天井用)</td><td>D R D R (凹凸) D R (軒天) D R (軒天凹凸)</td><td></td><td colspan="3">フラットタイプ 9 (不燃)</td><td colspan="3">・ 凹凸タイプ (12</td><td>・ 15) (不燃)</td></tr><tr><td>・せっこうボード</td><td>G B - R</td><td></td><td colspan="3">12.5 (不燃)</td><td colspan="3">・ 9.5 (準不燃)</td><td></td></tr><tr><td>・不燃積層せっこうボード</td><td>G B - N C</td><td></td><td colspan="3">9.5 (不燃)</td><td colspan="3">化粧無 (下地張り用)</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">化粧有 (トラパーチン模様)</td><td colspan="3"></td><td></td></tr><tr><td>・シージングせっこうボード</td><td>G B - S</td><td></td><td colspan="3">・ 12.5 (不燃)</td><td colspan="3"></td><td></td></tr><tr><td>・強化せっこうボード</td><td>G B - F</td><td></td><td colspan="3">・ 12.5 (不燃)</td><td colspan="3">・ 15.0 (不燃)</td><td></td></tr><tr><td>・せっこうラスボード</td><td>G B - L</td><td></td><td colspan="3">・ 9.5</td><td colspan="3"></td><td></td></tr><tr><td>・化粧せっこうボード</td><td>G B - D</td><td></td><td colspan="3">・ 12.5 (不燃) 幅440mm程度</td><td colspan="3">・ 9.5 (準不燃)</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">模様 (梃目 ・ 板目) 専用下地材付き</td><td colspan="3"></td><td></td></tr><tr><td>・難燃合板</td><td></td><td>㊦</td><td colspan="3">・生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度)</td><td colspan="3">・不透明塗料塗り (しな合板程度)</td><td></td></tr><tr><td>・メラミン樹脂化粧板</td><td></td><td></td><td colspan="3">JIS K 6903による</td><td colspan="3">厚さ1.2</td><td></td></tr><tr><td>・ミディアムデンシティ ファイバーボード</td><td>M D F</td><td>㊦</td><td>・ 3</td><td>・ 7</td><td>・ 9</td><td>・ 12</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・単板張りパーティクルボード</td><td></td><td>㊦</td><td colspan="3">・無研磨板 ・研磨板</td><td colspan="3"></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">・ 10</td><td>・ 12</td><td>・ 15</td><td>・ 18</td><td>・ 20</td></tr><tr><td>・ハードボード (素地)</td><td>H B</td><td>㊦</td><td colspan="3">・無研磨板 (・スタンダード ・テンパード)</td><td colspan="3">・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)</td><td></td></tr><tr><td>・インシュレーションボード</td><td>I B</td><td>㊦</td><td colspan="3">A 級 (・天井仕上 ・内装仕上</td><td colspan="3">・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">・ 9</td><td>・ 12</td><td>・ 15</td><td>・ 18</td><td>・</td></tr></table>	(19.7.2) (表19.7.1)					種 類	JISの記号	厚さ (mm)			規格等	・硬質木毛セメント板	H W	㊦	・ 15	・ 20	・ 25	・	・普通木毛セメント板	N W	㊦	・ 15	・ 20	・ 25	・	○けい酸カルシウム板	0.8 F K		タイプ2 (無石綿) (㊦6			・ 8	・ 12	・	・ロックウール化粧吸音板	D R		フラットタイプ (9 (不燃)			・ 12	・	・				・ 凹凸タイプ (12 (不燃)			・ 15	・ 19	・	・ロックウール化粧吸音板 (軒天井用)	D R D R (凹凸) D R (軒天) D R (軒天凹凸)		フラットタイプ 9 (不燃)			・ 凹凸タイプ (12			・ 15) (不燃)	・せっこうボード	G B - R		12.5 (不燃)			・ 9.5 (準不燃)				・不燃積層せっこうボード	G B - N C		9.5 (不燃)			化粧無 (下地張り用)							化粧有 (トラパーチン模様)							・シージングせっこうボード	G B - S		・ 12.5 (不燃)							・強化せっこうボード	G B - F		・ 12.5 (不燃)			・ 15.0 (不燃)				・せっこうラスボード	G B - L		・ 9.5							・化粧せっこうボード	G B - D		・ 12.5 (不燃) 幅440mm程度			・ 9.5 (準不燃)							模様 (梃目 ・ 板目) 専用下地材付き							・難燃合板		㊦	・生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度)			・不透明塗料塗り (しな合板程度)				・メラミン樹脂化粧板			JIS K 6903による			厚さ1.2				・ミディアムデンシティ ファイバーボード	M D F	㊦	・ 3	・ 7	・ 9	・ 12	・			・単板張りパーティクルボード		㊦	・無研磨板 ・研磨板										・ 10			・ 12	・ 15	・ 18	・ 20	・ハードボード (素地)	H B	㊦	・無研磨板 (・スタンダード ・テンパード)			・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)				・インシュレーションボード	I B	㊦	A 級 (・天井仕上 ・内装仕上			・			・				・ 9			・ 12	・ 15	・ 18	・
(19.7.2) (表19.7.1)																																																																																																																																																																																																																																
種 類	JISの記号	厚さ (mm)			規格等																																																																																																																																																																																																																											
・硬質木毛セメント板	H W	㊦	・ 15	・ 20	・ 25	・																																																																																																																																																																																																																										
・普通木毛セメント板	N W	㊦	・ 15	・ 20	・ 25	・																																																																																																																																																																																																																										
○けい酸カルシウム板	0.8 F K		タイプ2 (無石綿) (㊦6			・ 8	・ 12	・																																																																																																																																																																																																																								
・ロックウール化粧吸音板	D R		フラットタイプ (9 (不燃)			・ 12	・	・																																																																																																																																																																																																																								
			・ 凹凸タイプ (12 (不燃)			・ 15	・ 19	・																																																																																																																																																																																																																								
・ロックウール化粧吸音板 (軒天井用)	D R D R (凹凸) D R (軒天) D R (軒天凹凸)		フラットタイプ 9 (不燃)			・ 凹凸タイプ (12			・ 15) (不燃)																																																																																																																																																																																																																							
・せっこうボード	G B - R		12.5 (不燃)			・ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																										
・不燃積層せっこうボード	G B - N C		9.5 (不燃)			化粧無 (下地張り用)																																																																																																																																																																																																																										
			化粧有 (トラパーチン模様)																																																																																																																																																																																																																													
・シージングせっこうボード	G B - S		・ 12.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																																													
・強化せっこうボード	G B - F		・ 12.5 (不燃)			・ 15.0 (不燃)																																																																																																																																																																																																																										
・せっこうラスボード	G B - L		・ 9.5																																																																																																																																																																																																																													
・化粧せっこうボード	G B - D		・ 12.5 (不燃) 幅440mm程度			・ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																										
			模様 (梃目 ・ 板目) 専用下地材付き																																																																																																																																																																																																																													
・難燃合板		㊦	・生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度)			・不透明塗料塗り (しな合板程度)																																																																																																																																																																																																																										
・メラミン樹脂化粧板			JIS K 6903による			厚さ1.2																																																																																																																																																																																																																										
・ミディアムデンシティ ファイバーボード	M D F	㊦	・ 3	・ 7	・ 9	・ 12	・																																																																																																																																																																																																																									
・単板張りパーティクルボード		㊦	・無研磨板 ・研磨板																																																																																																																																																																																																																													
			・ 10			・ 12	・ 15	・ 18	・ 20																																																																																																																																																																																																																							
・ハードボード (素地)	H B	㊦	・無研磨板 (・スタンダード ・テンパード)			・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)																																																																																																																																																																																																																										
・インシュレーションボード	I B	㊦	A 級 (・天井仕上 ・内装仕上			・			・																																																																																																																																																																																																																							
			・ 9			・ 12	・ 15	・ 18	・																																																																																																																																																																																																																							
⑩合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ○規制対象外 ・第三種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																
12 吸音材	<table><tr><th colspan="4">(表19.7.1)</th></tr><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th colspan="2">厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ロックウール吸音ボード1号</td><td>R W - B</td><td>25</td><td>・</td></tr><tr><td>グラスウール吸音ボード32K</td><td>G W - B</td><td>25</td><td>・</td></tr></table>	(表19.7.1)				種 類	JISの記号	厚さ (mm)		・ロックウール吸音ボード1号	R W - B	25	・	グラスウール吸音ボード32K	G W - B	25	・																																																																																																																																																																																																															
(表19.7.1)																																																																																																																																																																																																																																
種 類	JISの記号	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																														
・ロックウール吸音ボード1号	R W - B	25	・																																																																																																																																																																																																																													
グラスウール吸音ボード32K	G W - B	25	・																																																																																																																																																																																																																													
<table><tr><th colspan="6">(19.8.2)</th></tr><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="5">壁紙の種類</th><th rowspan="2">防火性能</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>紙</th><th>繊維 (繊維)</th><th>ブラ (ビニル)</th><th>その他 (化学繊維)</th><th>無機質</th></tr><tr><td>図 示</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・不燃・準不燃・難燃</td><td></td></tr></table>	(19.8.2)						施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備 考	紙	繊維 (繊維)	ブラ (ビニル)	その他 (化学繊維)	無機質	図 示	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																														
(19.8.2)																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備 考																																																																																																																																																																																																																									
	紙	繊維 (繊維)	ブラ (ビニル)	その他 (化学繊維)	無機質																																																																																																																																																																																																																											
図 示	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																																																										
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																																																										
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																																																										
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																																																										
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																																																										
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																																																																										
13 壁紙張り 図示による	素地ごしらえ (表18.2.4) (表18.2.7) モルタル、プaster面 B 種 ・ A 種 (施工箇所：) せっこうボード面 B 種 ・ A 種 (施工箇所：) 壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ○規制対象外 ・第三種 (19.8.2) (19.9.2～3)																																																																																																																																																																																																																															
	<table><tr><th>種 類</th><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>品質等</th></tr><tr><td>○押出法</td><td>2 種 b</td><td>一般部</td><td>25 ・ 特定フロンを使用しないもの</td></tr><tr><td>ポリスチレン フォーム 保温板</td><td>○3 種 b (スキン層付)</td><td>・接合部分 ・</td><td>○25 ・</td></tr><tr><td>・現場発泡断熱材</td><td></td><td>断熱材補修部分</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・一般部 ・</td><td>15 ・ 特定フロンを使用しないもの 難燃性 3 級 ・ 2 級</td></tr><tr><td></td><td></td><td>製造所</td><td>性能の確認できる資料を監督職員に提出する</td></tr><tr><td>・断熱材兼用型枠</td><td>・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系</td><td>壁 (図示の範囲) ・</td><td>40以下 ・ 断熱抵抗 = 厚さ / 熱伝導率 = 0.676以上 (m²・k/w)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>製造所</td><td>建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの</td></tr></table>	種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等	○押出法	2 種 b	一般部	25 ・ 特定フロンを使用しないもの	ポリスチレン フォーム 保温板	○3 種 b (スキン層付)	・接合部分 ・	○25 ・	・現場発泡断熱材		断熱材補修部分				・一般部 ・	15 ・ 特定フロンを使用しないもの 難燃性 3 級 ・ 2 級			製造所	性能の確認できる資料を監督職員に提出する	・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	壁 (図示の範囲) ・	40以下 ・ 断熱抵抗 = 厚さ / 熱伝導率 = 0.676以上 (m ² ・k/w)			製造所	建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの																																																																																																																																																																																															
種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等																																																																																																																																																																																																																													
○押出法	2 種 b	一般部	25 ・ 特定フロンを使用しないもの																																																																																																																																																																																																																													
ポリスチレン フォーム 保温板	○3 種 b (スキン層付)	・接合部分 ・	○25 ・																																																																																																																																																																																																																													
・現場発泡断熱材		断熱材補修部分																																																																																																																																																																																																																														
		・一般部 ・	15 ・ 特定フロンを使用しないもの 難燃性 3 級 ・ 2 級																																																																																																																																																																																																																													
		製造所	性能の確認できる資料を監督職員に提出する																																																																																																																																																																																																																													
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	壁 (図示の範囲) ・	40以下 ・ 断熱抵抗 = 厚さ / 熱伝導率 = 0.676以上 (m ² ・k/w)																																																																																																																																																																																																																													
		製造所	建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの																																																																																																																																																																																																																													
⑭断熱材	14 浴室天井材	ロックウール (グラスウール) 、フェノールフォーム、コリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ○規制対象外 ・第三種																																																																																																																																																																																																																														
		市販品																																																																																																																																																																																																																														
		<table><tr><th>材 質</th><th>表面仕上げ</th><th>性 能</th><th>幅 (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">アルミニウム製</td><td>焼付け塗装品</td><td rowspan="2">準不燃品</td><td>200</td><td rowspan="2">回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。</td></tr><tr><td>・アルマイト処理品</td><td>・ 100</td></tr><tr><td rowspan="2">・硬質塩ビ製</td><td>塗装品</td><td rowspan="2"></td><td>300</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・木目調</td><td>・ 100</td></tr></table>	材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考	アルミニウム製	焼付け塗装品	準不燃品	200	回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。	・アルマイト処理品	・ 100	・硬質塩ビ製	塗装品		300		・木目調	・ 100																																																																																																																																																																																																											
材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																												
アルミニウム製	焼付け塗装品	準不燃品	200	回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。																																																																																																																																																																																																																												
	・アルマイト処理品		・ 100																																																																																																																																																																																																																													
・硬質塩ビ製	塗装品		300																																																																																																																																																																																																																													
	・木目調		・ 100																																																																																																																																																																																																																													
		20 ユニット及びその他の工事																																																																																																																																																																																																																														
		1 フリーアクセスフロア																																																																																																																																																																																																																														
		<table><tr><th colspan="6">(20.2.2)</th></tr><tr><th>施工箇所</th><th>構 法</th><th>仕上り高 (mm)</th><th>適用地震時 水平力</th><th>耐荷重性能</th><th>表面仕上げ材</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・溝構法</td><td></td><td>・ 1.0 G ・ 0.6 G</td><td>・ 3,000 N ・ 5,000 N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・溝構法</td><td></td><td>・ 1.0 G ・ 0.6 G</td><td>・ 3,000 N ・ 5,000 N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・パネル構法 ・溝構法</td><td></td><td>・ 1.0 G ・ 0.6 G</td><td>・ 3,000 N ・ 5,000 N</td><td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト</td><td></td></tr></table> <p>5,000N については、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。</p> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示</p> <p>配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル 1 枚につき40mm × 80mm 程度の開口 1 ヶ所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 20 - 30 % ・ 空調用吹き出しパネル 無し ・有り (固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示)</p>	(20.2.2)						施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考		・パネル構法 ・溝構法		・ 1.0 G ・ 0.6 G	・ 3,000 N ・ 5,000 N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト			・パネル構法 ・溝構法		・ 1.0 G ・ 0.6 G	・ 3,000 N ・ 5,000 N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト			・パネル構法 ・溝構法		・ 1.0 G ・ 0.6 G	・ 3,000 N ・ 5,000 N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																																																																																																																																																																																													
(20.2.2)																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考																																																																																																																																																																																																																										
	・パネル構法 ・溝構法		・ 1.0 G ・ 0.6 G	・ 3,000 N ・ 5,000 N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																																																																																																																																																																																																																											
	・パネル構法 ・溝構法		・ 1.0 G ・ 0.6 G	・ 3,000 N ・ 5,000 N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																																																																																																																																																																																																																											
	・パネル構法 ・溝構法		・ 1.0 G ・ 0.6 G	・ 3,000 N ・ 5,000 N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																																																																																																																																																																																																																											
		<table><tr><th colspan="6">(20.2.3)</th></tr><tr><th>構造形式</th><th>パネル部の 総厚さ (mm)</th><th>表面材種 厚さ (mm)</th><th>表面仕上げ</th><th>遮音性能</th><th>防火性能</th></tr><tr><td>・スタツド式 ・スタツドパネル式 ・パネル式</td><td>・ (0.6</td><td>鋼板 (0.8) ・</td><td>メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・</td><td>・あり () ・なし</td><td>・あり () ・なし</td></tr></table>	(20.2.3)						構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能	・スタツド式 ・スタツドパネル式 ・パネル式	・ (0.6	鋼板 (0.8) ・	メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり () ・なし	・あり () ・なし																																																																																																																																																																																																												
(20.2.3)																																																																																																																																																																																																																																
構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能																																																																																																																																																																																																																											
・スタツド式 ・スタツドパネル式 ・パネル式	・ (0.6	鋼板 (0.8) ・	メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり () ・なし	・あり () ・なし																																																																																																																																																																																																																											
		<table><tr><th colspan="5">(20.2.4)</th></tr><tr><th>遮音性能</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面材</th><th>表面仕上げ</th><th>操作方法</th></tr><tr><td>・一般タイプ</td><td></td><td>鋼板 ・</td><td>・焼付け塗装 ・壁紙張り</td><td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td></tr><tr><td>・遮音タイプ (36db 以上)</td><td></td><td>鋼板 ・</td><td>・焼付け塗装 ・壁紙張り</td><td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td></tr></table> <p>表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による 遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する</p>	(20.2.4)					遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法	・一般タイプ		鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・遮音タイプ (36db 以上)		鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式																																																																																																																																																																																																										
(20.2.4)																																																																																																																																																																																																																																
遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法																																																																																																																																																																																																																												
・一般タイプ		鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式																																																																																																																																																																																																																												
・遮音タイプ (36db 以上)		鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式																																																																																																																																																																																																																												
		表面仕上げ材 (20.2.5) メラミン樹脂系化粧板 (標準色 アルミ製コーナーエツジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板 足形状 幅木型 ・足金物型																																																																																																																																																																																																																														
		材 種 ステンレスSUS304 (20.2.6) 形 状 ビニルタイヤ入り 両端フラツトエンド 有り (・ステンレス製 ビニル製) ・無し 幅 (mm) 約35 取付け工法 接着工法 ・埋込み工法																																																																																																																																																																																																																														
		<table><tr><th colspan="2">種 別</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td colspan="2">集成材クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約45mm)</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・ビニル製ハンドレール (幅 約50mm)</td><td></td></tr></table>	種 別		施工箇所	集成材クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約45mm)			・ビニル製ハンドレール (幅 約50mm)																																																																																																																																																																																																																							
種 別		施工箇所																																																																																																																																																																																																																														
集成材クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約45mm)																																																																																																																																																																																																																																
・ビニル製ハンドレール (幅 約50mm)																																																																																																																																																																																																																																
		<table><tr><th colspan="4">(20.2.8)</th></tr><tr><th>種 類</th><th>寸法 (mm)</th><th>色 彩</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・黒板</td><td>焼付け</td><td rowspan="2">緑 ・黒 緑 ・黒</td><td rowspan="2">平面 ・曲面 ・スクリーン付引分</td></tr><tr><td>・ホワイト ボード</td><td>ほうろう</td></tr></table>	(20.2.8)				種 類	寸法 (mm)	色 彩	備 考	・黒板	焼付け	緑 ・黒 緑 ・黒	平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	・ホワイト ボード	ほうろう																																																																																																																																																																																																																
(20.2.8)																																																																																																																																																																																																																																
種 類	寸法 (mm)	色 彩	備 考																																																																																																																																																																																																																													
・黒板	焼付け	緑 ・黒 緑 ・黒	平面 ・曲面 ・スクリーン付引分																																																																																																																																																																																																																													
・ホワイト ボード	ほうろう																																																																																																																																																																																																																															
		寸法 (mm) ・図示 ・ w406 × H610 (20.2.9) 厚さ (mm) 5 ・防錆タイプ																																																																																																																																																																																																																														
		衝突防止表示 (20.2.10) 図示 (市販品 ステンレス製 径約30mm ・) (・両面 ・片面) ・無し																																																																																																																																																																																																																														
		表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。																																																																																																																																																																																																																														
		・煙突用成形ライニング材 (20.2.11) 最高使用温度 650 ・ 400 ・キャストابل耐火材 工 法 こて押さえ 最高使用温度 400																																																																																																																																																																																																																														
		⑮ ユニット及びその他の工事																																																																																																																																																																																																																														
		11 ブラインド																																																																																																																																																																																																																														
		12 ロールスクリーン																																																																																																																																																																																																																														
		13 カーテン																																																																																																																																																																																																																														
		14 カーテンレール																																																																																																																																																																																																																														
		15 ブラインドボックス 及びカーテンボックス																																																																																																																																																																																																																														
		16 耐震スリツト																																																																																																																																																																																																																														
		17 止水板																																																																																																																																																																																																																														
		⑯ 天井点検口																																																																																																																																																																																																																														
		19 床点検口																																																																																																																																																																																																																														
		⑰ 鋼製書架及び物品棚 (既存品再利用)																																																																																																																																																																																																																														
		21 かぎ箱																																																																																																																																																																																																																														
		22 くつふきマツト																																																																																																																																																																																																																														
		23 流し台ユニット (設備工事)																																																																																																																																																																																																																														
		24 屋内掲示板																																																																																																																																																																																																																														
		25 洗面カウンター (設備工事)																																																																																																																																																																																																																														
		<table><tr><th colspan="4">(20.2.12)</th></tr><tr><th>形 式</th><th>種 類</th><th>スラツトの材質</th><th>スラツトの幅 (mm)</th></tr><tr><td>・ 模 型</td><td>・ ギヤ式 ・コード式 ・ 操作棒式</td><td>アルミニウム合金製 ・</td><td>25</td></tr><tr><td>・ 縦 型</td><td>・ 1 本操作コード ・ 2 本操作コード</td><td>・ アルミスラツト ・ クロススラツト</td><td>・ 80 ・ 100</td></tr></table> <p>防災性能 有り (20.2.13)</p> <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">装 置</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>電動</th><th>手引</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> <p>(20.2.14)</p> <table><tr><th>施工箇所</th><th>形 式</th><th colspan="2">装 置</th><th>ひだの種類</th><th>性 能</th><th>備 考</th></tr><tr><th rowspan="2">図 示</th><th>片引</th><th>引分</th><th>電動</th><th>ひも引</th><th>手引</th><th rowspan="2">ブレーション</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table>	(20.2.12)				形 式	種 類	スラツトの材質	スラツトの幅 (mm)	・ 模 型	・ ギヤ式 ・コード式 ・ 操作棒式	アルミニウム合金製 ・	25	・ 縦 型	・ 1 本操作コード ・ 2 本操作コード	・ アルミスラツト ・ クロススラツト	・ 80 ・ 100	施工箇所	装 置		備 考	電動	手引		・	・			・	・			・	・		施工箇所	形 式	装 置		ひだの種類	性 能	備 考	図 示	片引	引分	電動	ひも引	手引	ブレーション	・	・	・	・	・		・	・	・	・	・			・	・	・	・	・			・	・	・	・	・																																																																																																																																																					
(20.2.12)																																																																																																																																																																																																																																
形 式	種 類	スラツトの材質	スラツトの幅 (mm)																																																																																																																																																																																																																													
・ 模 型	・ ギヤ式 ・コード式 ・ 操作棒式	アルミニウム合金製 ・	25																																																																																																																																																																																																																													
・ 縦 型	・ 1 本操作コード ・ 2 本操作コード	・ アルミスラツト ・ クロススラツト	・ 80 ・ 100																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	装 置		備 考																																																																																																																																																																																																																													
	電動	手引																																																																																																																																																																																																																														
	・	・																																																																																																																																																																																																																														
	・	・																																																																																																																																																																																																																														
	・	・																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	形 式	装 置		ひだの種類	性 能	備 考																																																																																																																																																																																																																										
図 示	片引	引分	電動	ひも引	手引	ブレーション																																																																																																																																																																																																																										
	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																											
	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																											
	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																											
	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																											
		材 種 アルミニウム製 ・ステンレス製 ・木製 (20.2.14) 形 式 ・片引き ・引分け (暗幕用は300mm 以上の召合せの重掛けとする) [透光カマ] ・市販品 (アルミニウム製 押出し型材) ・木製 (タモ、ウレタン塗装) 化粧面取 溝幅 × 深さ (mm) ・ 90 × 150 120 × 80 ・ 120 × 150 ・ 150 × 80 ・ 色彩 B - 1 ・ B - 2 (ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示																																																																																																																																																																																																																														
		<table><tr><th>方 向</th><th>タイプ</th><th>耐火性能</th><th>防水性能</th></tr><tr><td>・垂直方向</td><td rowspan="2">完全 (全貫通型) スリツト</td><td>・耐火型</td><td>・有り</td></tr><tr><td>・水平方向</td><td>・非耐火型</td><td>・無し</td></tr></table>	方 向	タイプ	耐火性能	防水性能	・垂直方向	完全 (全貫通型) スリツト	・耐火型	・有り	・水平方向	・非耐火型	・無し																																																																																																																																																																																																																			
方 向	タイプ	耐火性能	防水性能																																																																																																																																																																																																																													
・垂直方向	完全 (全貫通型) スリツト	・耐火型	・有り																																																																																																																																																																																																																													
・水平方向		・非耐火型	・無し																																																																																																																																																																																																																													
		<table><tr><th>目 地</th><th>内壁 (幅 × 深さ)</th><th>外壁 (幅 × 深さ)</th></tr><tr><td>目地材</td><td>シーリング材 (見え掛かりのみ)</td><td>シーリング材 (内外とも)</td></tr><tr><td>目地寸法 (mm)</td><td>20 × 10 ・</td><td>20 × 10 ・</td></tr></table>	目 地	内壁 (幅 × 深さ)	外壁 (幅 × 深さ)	目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)	シーリング材 (内外とも)	目地寸法 (mm)	20 × 10 ・	20 × 10 ・																																																																																																																																																																																																																					
目 地	内壁 (幅 × 深さ)	外壁 (幅 × 深さ)																																																																																																																																																																																																																														
目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)	シーリング材 (内外とも)																																																																																																																																																																																																																														
目地寸法 (mm)	20 × 10 ・	20 × 10 ・																																																																																																																																																																																																																														
		形 状 ・据置式 ・壁張り式 ・差込式 寸 法 製造所																																																																																																																																																																																																																														
		材 質 アルミニウム製 (㊦顔縁タイプ ・目地タイプ) ○1 ヶ所設置 450 角																																																																																																																																																																																																																														
		材 質 アルミニウム製 (受け枠 アルミ製鍵付・ステンレス製)																																																																																																																																																																																																																														
		<table><tr><th>種 類</th><th>規格等</th><th>耐荷重による種類</th></tr><tr><td>・鋼製書架</td><td>JIS S 1039 の規格による</td><td>水平荷重 又は水平荷重</td></tr><tr><td>・鋼製物品棚</td><td>JIS S 1040 の規格による</td><td>1 種 ・ 2 種 ・ 3 種</td></tr></table>	種 類	規格等	耐荷重による種類	・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	水平荷重 又は水平荷重	・鋼製物品棚	JIS S 1040 の規格による	1 種 ・ 2 種 ・ 3 種																																																																																																																																																																																																																					
種 類	規格等	耐荷重による種類																																																																																																																																																																																																																														
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	水平荷重 又は水平荷重																																																																																																																																																																																																																														
・鋼製物品棚	JIS S 1040 の規格による	1 種 ・ 2 種 ・ 3 種																																																																																																																																																																																																																														
		市販品 形 式 ・ 30 組用 ・ 60 組用 ・ 120 組用 ・																																																																																																																																																																																																																														
		市販品 材 質 ・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)																																																																																																																																																																																																																														
		<table><tr><th>種 類</th><th>寸法 (L = mm)</th><th>適用内容</th><th>規格・品質等</th></tr><tr><td>・流し台</td><td>1200 ・ 1500 ・ 1800</td><td>トラップ付き</td><td rowspan="2">優良住宅部品 (セクショナルキッチン 型)</td></tr><tr><td>・コンロ台</td><td>600 ・ 700 ・</td><td>バックガード 有り</td></tr><tr><td>・つり戸棚</td><td>1200 ・ 900 ・ 600</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>・水切り棚</td><td>1200 ・ 900</td><td>ステンレス製 1 段式</td><td>市販品</td></tr></table>	種 類	寸法 (L = mm)	適用内容	規格・品質等	・流し台	1200 ・ 1500 ・ 1800	トラップ付き	優良住宅部品 (セクショナルキッチン 型)	・コンロ台	600 ・ 700 ・	バックガード 有り	・つり戸棚	1200 ・ 900 ・ 600		・	・水切り棚	1200 ・ 900	ステンレス製 1 段式	市販品																																																																																																																																																																																																											
種 類	寸法 (L = mm)	適用内容	規格・品質等																																																																																																																																																																																																																													
・流し台	1200 ・ 1500 ・ 1800	トラップ付き	優良住宅部品 (セクショナルキッチン 型)																																																																																																																																																																																																																													
・コンロ台	600 ・ 700 ・	バックガード 有り																																																																																																																																																																																																																														
・つり戸棚	1200 ・ 900 ・ 600		・																																																																																																																																																																																																																													
・水切り棚	1200 ・ 900	ステンレス製 1 段式	市販品																																																																																																																																																																																																																													
		枠の材質 アルミニウム製 表面の材質 塩ビ発泡シート張り ・ カラーコルク																																																																																																																																																																																																																														
		材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 ・約600																																																																																																																																																																																																																														
MEMORANDUM		TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING	一級建築士事務所登録 上伊 D 第 1X093 号 一級建築士登録 第 168045 号 管 理 建 築 士 伊 藤 智 長野県上伊那郡箕輪町大字中曽根 297-2 TEL (0265)79-0797 ・ FAX (0265)79-0533																																																																																																																																																																																																																								
		平成19年度 町単独災害関連ふるさと歴史小図書館建設工事	建築工事特記仕様書 6		H20.6	・ ・ ・	・ ・ ・	D	7																																																																																																																																																																																																																							

[illegible]

木工事 その他	・構造材、下地材 - - - - 構造材 2 級 (杉)	
・構造材の仕口部分の施工方法は、監督員の承諾した方法により工事を行う事。	下地材 1 等 (杉)	・表面の仕上の程度は、構造材以外の物の場合 A 種 (超自動機械カンナがけ仕上)とする。
また、補強金物、ボルト類は住宅金融公庫、木造住宅共通仕様書 (最新版) によるものとするが、監督員の承諾を必要とする。	・造作材 - - - - 1 等 上小節 (見掛部分) (米 桧)	・土台、胴縁、木レンガ等、直接コンクリートに接する部材は、原則として全面防錆剤塗布とする。
監督員の指示により施工図及び施工計画書を提出し、承諾後工事を行う事。	・樹種は特記によるが、特記により指定された以外のものは、代用樹種を仕様する事ができる。	
	・寸法 - - - - 原則として、仕上材は仕上がり寸法として他はひき立て寸法とする。	
	・壁、床等の板材・その他化粧材、造作材の含水率は、A 種として特に板材は、18' /Wt 以下とする。	

国土交通省大臣官房官庁営繕部、建築工事 各共通仕様書及び監理指針準拠

外 部 仕 上 表・そ の 他

全て、シックハウス対応建材使用

1

床、壁、天井、建具表面

F

使用 (建築基準法、規制対象外)

2

天井裏等 (野地板、断熱材、壁下地材、床下地材、天井下地材等、建築基準法によるもの

F

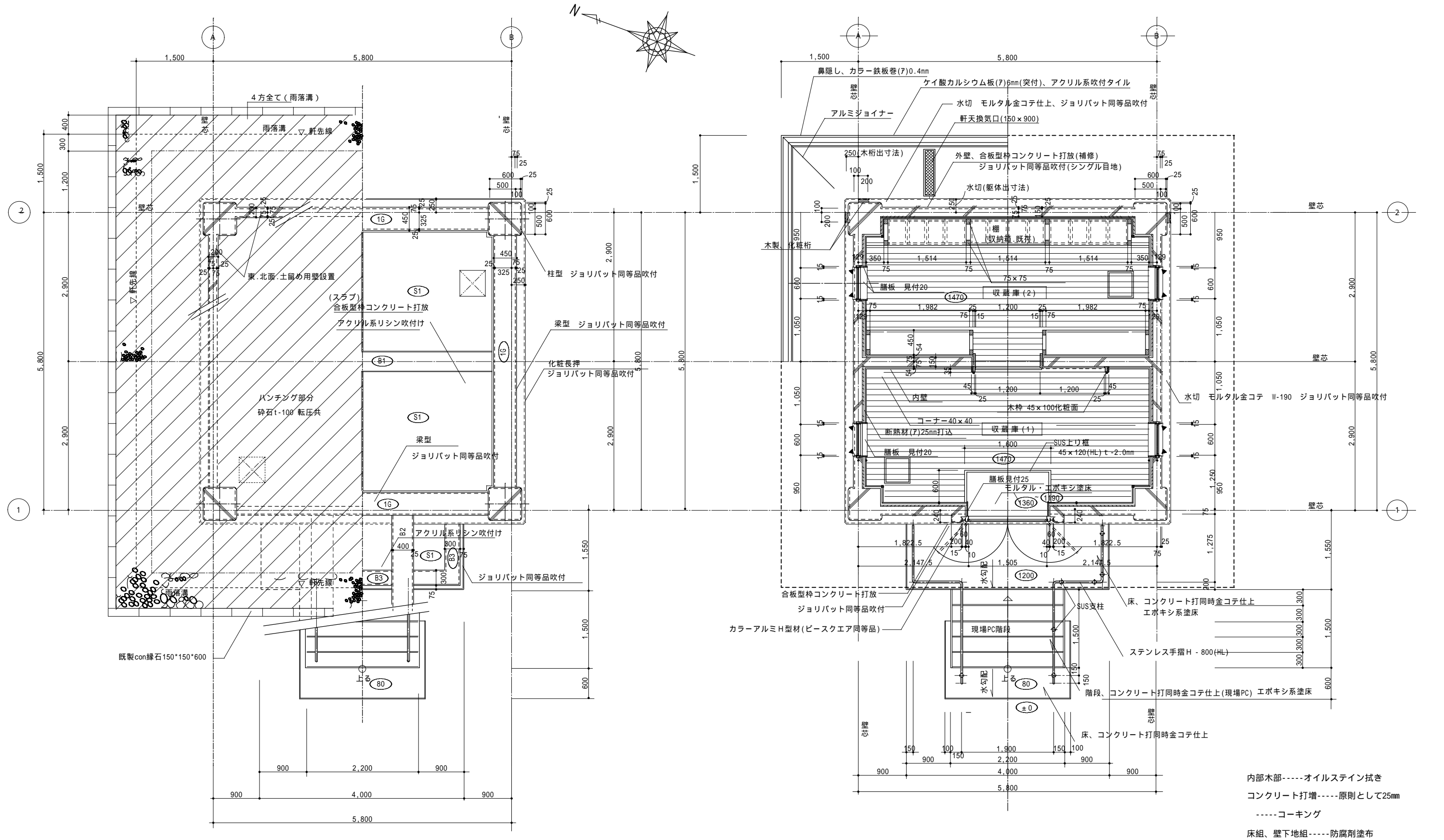
使用

RC造角柱仕上	・合板型枠コンクリート打放 (補修) 外装薄塗料 (E) 吹付 (ジョリバット同等品)	○ 小 屋 組 み	・既存小屋組み再利用...現地仮置き小屋組み取り付け.補修.再利用
			野地板 (7)15mm 垂木45×54@455
RC造化粧梁仕上	・合板型枠コンクリート打放 (補修) 外装薄塗料 (E) 吹付 (ジョリバット同等品)		
	内側 外装薄塗料 (E) 吹付 (アクリルリシン)	○ 屋 根 仕 上	・和瓦葺 (銀黒色) 釉薬瓦 一文字軒瓦使用 アスファルトルーフィング940
RC造階段 (現場PC)	・鋼製型枠コンクリート打放 (補修) (表面) - - エポキシ系塗床 (防滑仕様)	〔 既存瓦再利用 不足分補充 〕	平瓦... 50㎡ (新規) 52㎡ (既存)
	(その他) - - - アクリルリシン吹付		軒先瓦... 38㎡ (既存)
外 壁 仕 上	・合板型枠コンクリート打放 (補修) 外装薄塗料 (E) 吹付 (ジョリバット同等品)		隅 棟... 29.2㎡ (既存) 一部 20%程度新規)
	(目地棒による深目地)シングル目地 (目地巾6mm、ダークグレー色)		スエ鬼...4個 (既存)
			水玉...1個 (既存)
		○ 鼻 隠 し	(7)21+21+30板 ・カラー鉄板 (ガルバリウム鋼板) 巻 (7)0.4mm (3段) (既存鼻隠し整形程度)
		(既存品再利用)	
		手 摺	・ステンレス製 H-800 (HL仕上) (SUS304)
		断 熱 材	・床 グラスウール (7)50mm (16K)
軒 天 仕 上	・ケイ酸カルシウム板 (7)6mm (突付張り)		・コンクリート壁、スラブ ポリスチレンフォーム (7)25mm打ち込み
	アクリル系吹付タイル	シ ー リ ン グ	・ガラス ・木部 その他・屋根 - - - - シリコン系
1階スラブ裏面	・合板型枠コンクリート打放 (補修)アクリル系リシン吹付け		・上記以外 - - - - ポリサルファイド系
		外部木化粧材 (化粧梁)	・200×200 WPステイン塗装 (ケレン.塗装後)...既存
		(土台...105*105.120*120)	取り付け後溶接 アンカーボルト 13 ×450L (@ 1800)
			・既存小屋組み再利用

内 部 仕 上 表

特記無き場合 木部----オイルステイン2回拭き (巾木、壁、天井、回り縁、棹類etc)

室 名	床 仕 上	巾 木 仕 上	腰 仕 上	壁 仕 上	天 井 仕 上	天 井 高	備 考
	(入口) モルタル金コテ (7)30mm	(桧)	(7)12×105 縦羽目板張 (桧...上小節程度)		シナ合板 (7)5.5mm (910×910)目透かし張 (類) (OS)		床下換気口
収蔵庫 (1)	エポキシ系塗床 (防滑仕様)	木製 35×100 (OS)	(本実、目透かし張り) (OS)	同左	ラワン合板 (7)5.5mm下張	2400	
	カラーフロア - (7)12mm (ワックスかけ)						
	コンパネ (7)12mm下地 (グラスウール (7)50mm 16K充填)						
収蔵庫 (2)	同上	同上	同上	同上	同上	2400	(全て、OS塗装) 作り付け棚 床下換気口

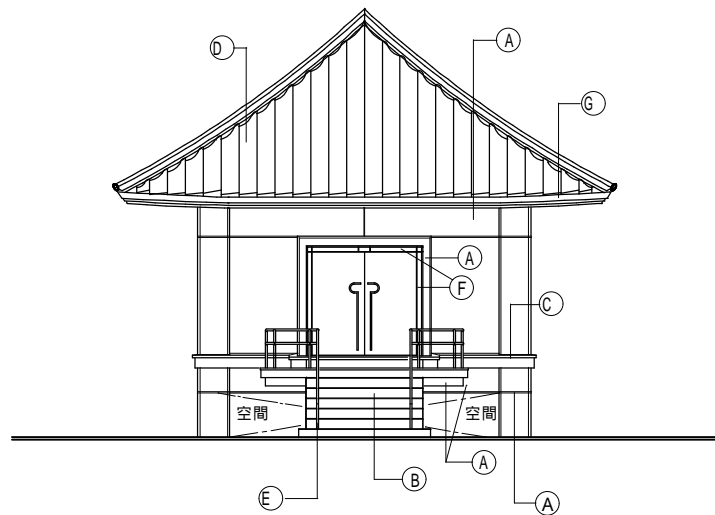


柱脚部平面図 1 : 5 0

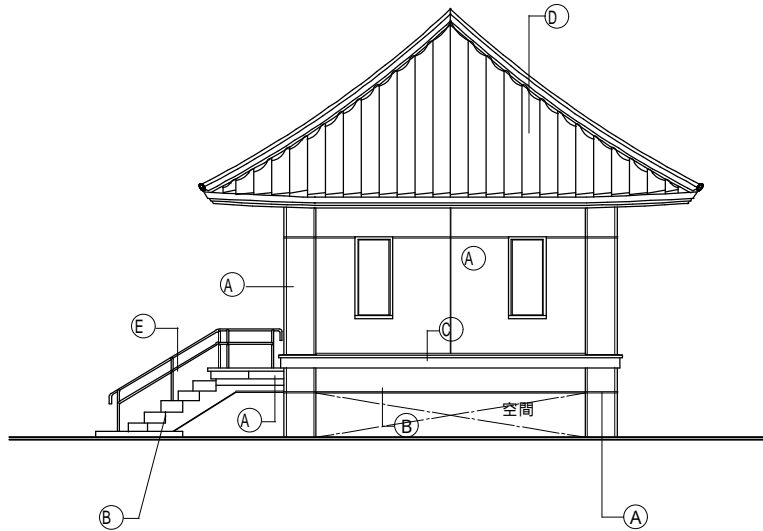
1階スラブ裏面伏図 1 : 5 0

1階平面図 1 : 5 0

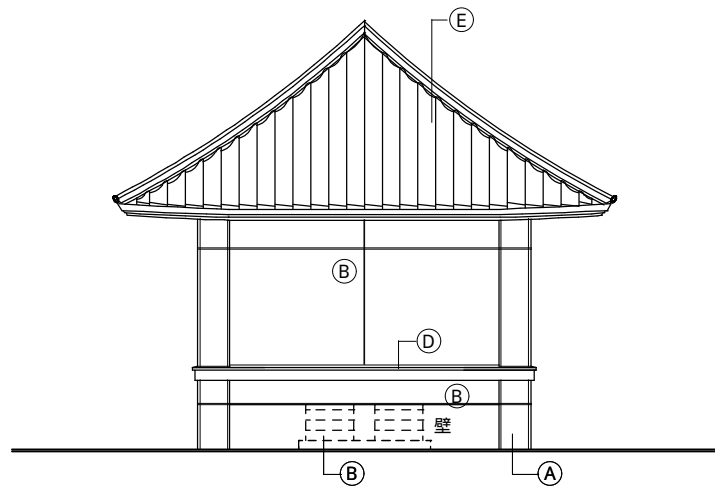
(一部)天井伏図 1 : 5 0



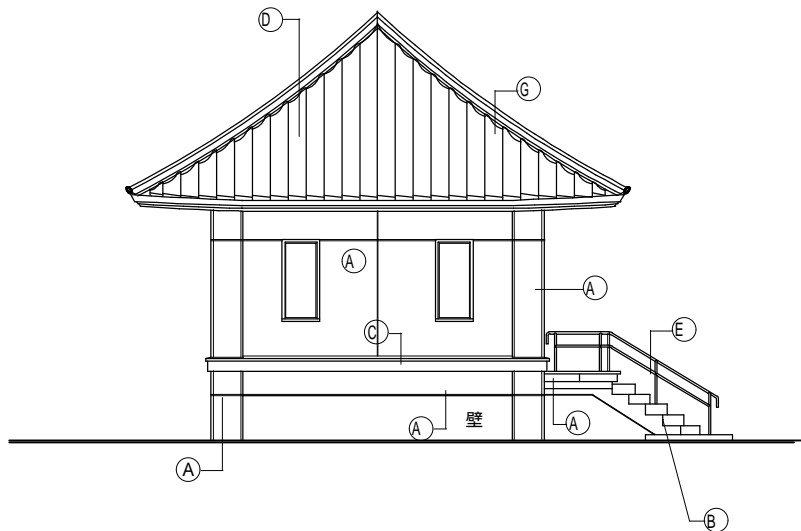
西・立面図 1:100



南・立面図 1:100



東・立面図 1:100



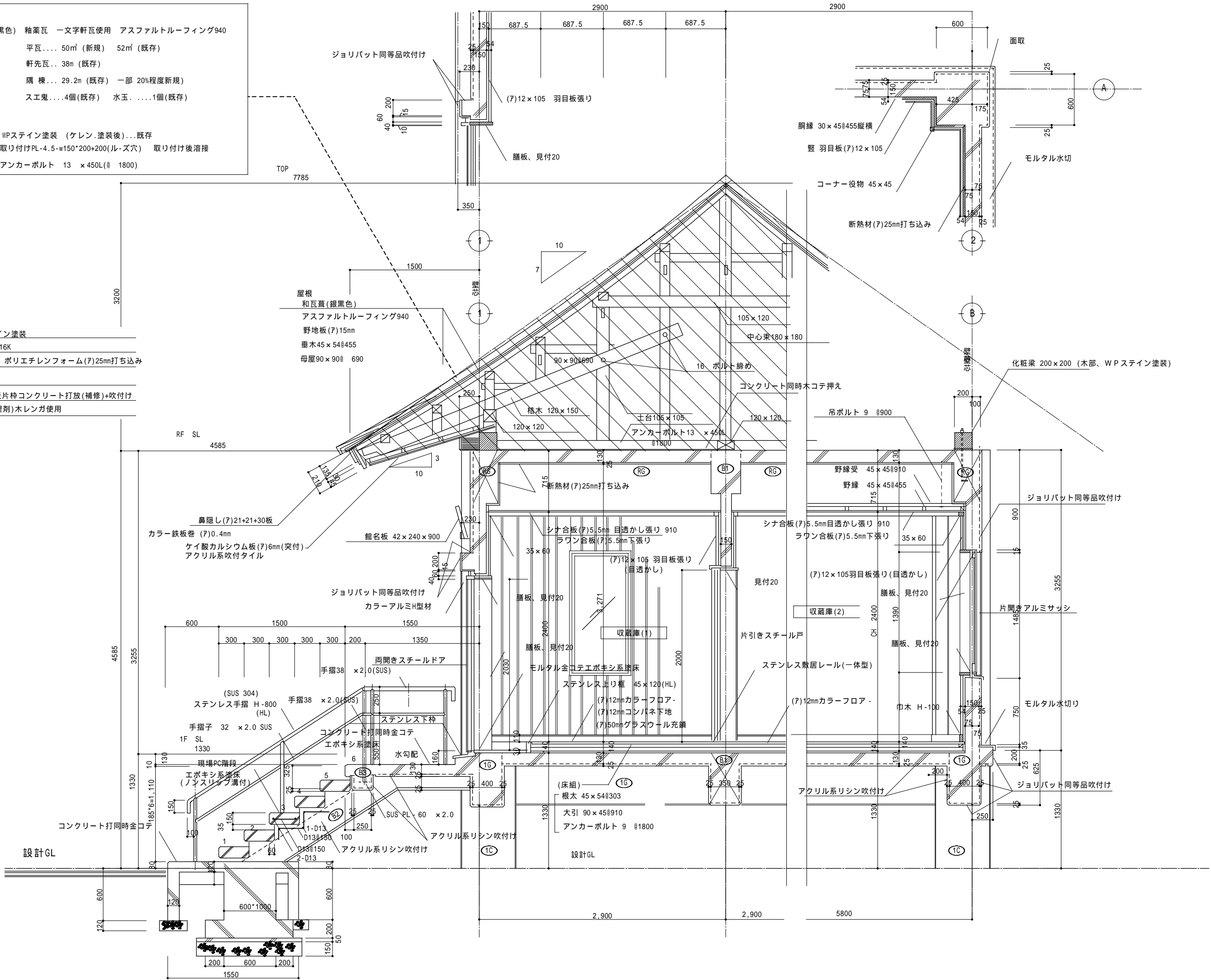
北・立面図 1:100

凡 例	
①	合板型枠コンクリート打放(補修) 外装薄塗材(E)吹付
②	合板型枠コンクリート打放(補修) (階段) エポキシ系塗り床
③	モルタル水切、外装薄塗材(E)吹付
④	和瓦葺(銀黒色)
⑤	ステンレス手摺
⑥	角-H型アルミ型材(ピースクエア同等品)
⑦	鼻隠し カラー鉄板(F)0.4mm巻き
⑧	

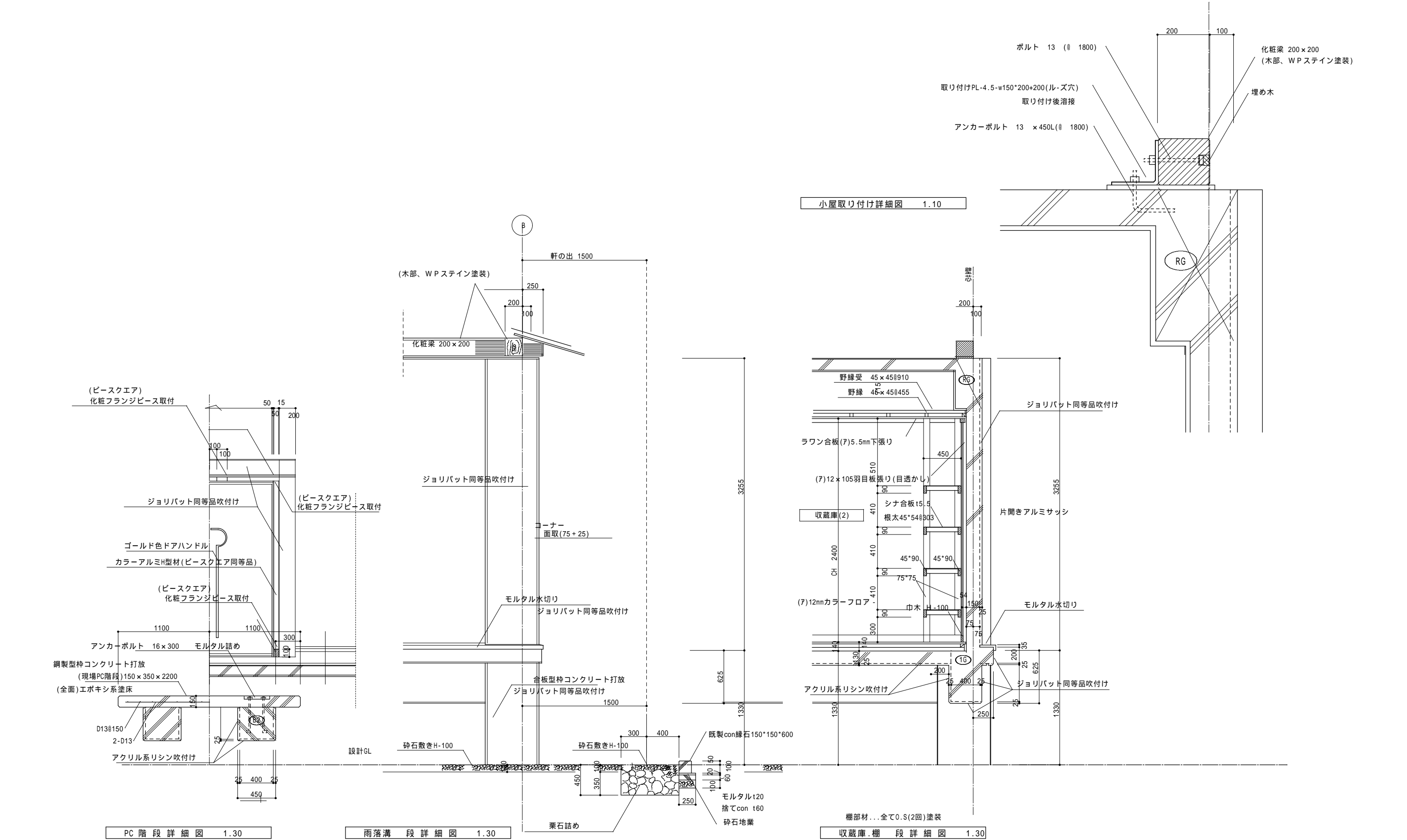
○ 屋 根 仕 上	・和瓦葺(銀黒色) 釉薬瓦 一文字軒瓦使用 アスファルトルーフィング940
〔 既存瓦再利用 不足分補充 〕	平瓦.... 50㎡ (新規) 52㎡ (既存) 軒先瓦... 38㎡ (既存) 隅 棟... 29.2㎡ (既存) 一部 20%程度新規) スエ鬼....4個(既存) 水玉.1個(既存)
外部木化粧材(化粧梁)	・200×200 WPステイン塗装 (ケレン・塗装後)...既存 (土台...105*105.120*120) 取り付けPL-4.5-w150*200+200(ル-ズ穴) 取り付け後溶接 ・既存小屋組み再利用 アンカーボルト 13 ×450L(φ 1800)

内部木部	特記無き場合	オイルステイン塗装
断熱材	・床	グラスウール(7)50mm16K
	・コンクリート壁、スラブ	ポリエチレンフォーム(7)25mm打ち込み

特記無き場合外部コンクリート面	合板片枠コンクリート打放(補修)+吹付け
木胴縁 30×45φ450(縦横共)	(防腐、防虫処理剤)木レンガ使用



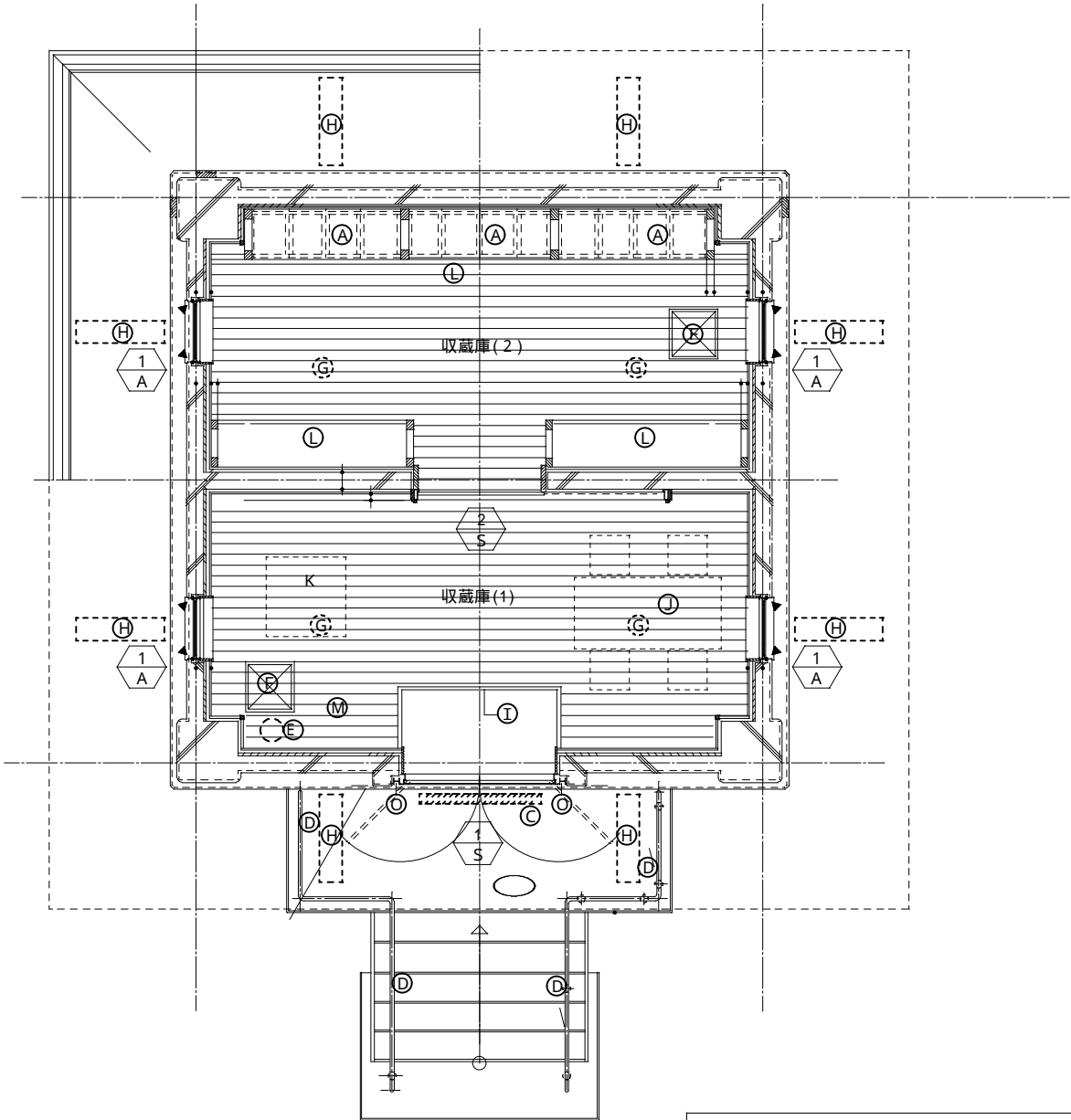
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK	DRAWING	<div>株式会社 エー・アンド・ユー設計事務所 Arch+Urban</div>	一級建築士事務所登録上伊D第1X093号 一級建築士登録第168045号 管理建築士伊藤 智 長野県上伊那郡箕輪町大字中曽根 297-2 TEL (0265)79-0797・FAX (0265)79-0533	SHEET NO 図書D13矩計 D — 13
	平成19年度 町単独 災害関連 ふるさと歴史小図書館建設工事	矩 計 図	1 : 30	H20.6			



符 号	仕 様	数 量
Ⓐ	書類収納箱 450×350×300 (プラスチック製)	既存品利用(40ヶ)
Ⓑ		欠 番
Ⓒ	感銘板(桧) 42×240×900 WPステイン塗装(文字書き込み共) 化粧取付金物共 (金物のみ新設)	既存品利用(1ヶ)
Ⓓ	ステンレス製(H=800)手摺 SUS304(HL仕上) 手摺38 ×2.0 支柱 34 ×2.0	2セット
Ⓔ	消火器(蓄圧式) 強化液 6 L	1セット
Ⓕ	フロアーハッチ(スチール製、鍵付) 450×450(スチール製)防火設備同等仕様 スチール製グレーチング 400×400(防虫SUS網付) T-2 7%酸樹脂エマル塗装・分電盤鍵付・取手付	2ヶ所
Ⓖ	ステンレス(SUS304) フード付メッシュガラリ(FD付) 150 SV100パイプ取付 (ST2型 フード付メッシュ FD同等品) (天井換気口)	4ヶ所
Ⓗ	ステンレス枠(SUS304) 150×900 パンチングパネル(SUS304) t -0.4mm (軒天換気口) 見付 20[換気口より 1 m内の小屋組、耐熱塗装](テルモ NO、300同等品)	8ヶ所
Ⓘ	ステンレス(SUS304)上り框 45×120(HL仕上)アツカ付	L=2800
Ⓙ	両袖机 W1460×D730×H740 グレー (10G-821同等品) 折りたたみ椅子P0-36C同等品	1個(既存品利用) 4個(既存品利用)
Ⓚ	片開書庫 W450×D450×H2160(FH-G21YB同等品) (スチールロッカー)	6個(既存品利用)
Ⓛ	作り付け棚	1+2ヶ所
Ⓜ	天井点検口 アルミ枠(450)	1ヶ所
Ⓢ	カラーアルミH型材(ピースクエア同等品)  の三方枠	1ヶ所

特記無き場合 ステンレスは SUS304とする

カラーアルミ水切(黒) W-190、t -2.0(アツカ付) 下部、モルタル充填



建具・雑工事 キープラン

1 : 5 0

建 具 リ ス ト

符 号	種 類	設 置 場 所	寸 法		見込	数	仕上・その他	塗装(改修)	ガ ラ ス		金 物	そ の 他	網 戸	参 考
			W	H					種 類	厚 さ				
<div><div>1</div><div>S</div></div>	両開きスチールドア (ドア、枠 既存品取付)	収蔵庫(1)	1505	2030	(扉厚40mm) 100mm	1	溶融亜鉛メッキ銅板	ケレン・清掃・水洗い 7%酸樹脂エマル塗装(工場)			ドアハンドル(プラスミラー、T7028-15-001同等品) ステンレスドアロック(シリンダー、サムサターン)	フランス落し(三方枠) ステンレス沓摺 t-2.0 その他標準金物一式		甲種防火戸 (旧)
											ストッパー付DC			
<div><div>2</div><div>S</div></div>	片開きスチール戸 (ドア、枠 既存品取付)	収蔵庫(1)	1200	2000	(扉厚40mm) 100mm	1	溶融亜鉛メッキ銅板	ケレン・清掃・水洗い 7%酸樹脂エマル塗装(工場)			ステンレス敷居(一体型) SUS304(HL仕上) 戸車(三方枠) ステンレス引き戸鍵 ドアハンドル(ステンレス L=2700 t-1560同等品)	その他標準金物一式		
<div><div>1</div><div>A</div></div>	片開きアルミサッシ	収蔵庫(2)	600	1390	70mm	4		カラーアルミ(RC用) (ブラック)	網入・型	FW 6.8mm + FL 3.0mm	標準金物一式	アルミ下枠 アルミ水切	ステンレス網戸	防火シリコン(8+8) 乙種防火戸 (旧)

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1．建築物の構造内容

(1) 工事名称

平成19年度 町単独災害関連ふるさと歴史小図書館建設工事

建築場所

上伊那郡箕輪町東箕輪(北小河内)

(2) 工事種別

☒新築

☐増築

☐増改築

☐改築

(3) 構造種別

☐木造 (W)

☐補強コンクリートブロック造 (C B)

☐鉄骨造 (S)

☒鉄筋コンクリート造 (R C)

☐壁式鉄筋コンクリート造 (W R C)

☐鉄骨鉄筋コンクリート造 (S R C)

☐壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (W P R C)

☐プレキャスト鉄筋コンクリート造 (P R C)

(4) 階 数

1階

(5) 主要用途

歴史小図書館(収蔵庫)

(6) 屋上付属物

☐広告塔

☐高架水槽

ton

☐

☐煙突

☐キュービクル

ton

☐

(7) 増築計画

☐有 () 無 ☒

(8) 付帯工事

☐門 塀

☐擁 壁

☐

☐

☐

(9) 特別な工事

☐エレベータ

人乗 (ロープ式 油圧式)

☐リフト

ton

☐ボイスト

ton

☐倉庫積載床用

kg / m²

☐受水槽

ton

(1 0) 構造計算ルート

X方向ルート - () Y方向ルート - ()

2．使用構造材料

㊦ コンクリート

適用箇所	種 類	設計基準強度 F c = N / mm2	スランプcm	備 考
除コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 13.5 <input checked="" type="checkbox"/> 16 <input checked="" type="checkbox"/> 15	1 5	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 21 <input checked="" type="checkbox"/> 15	1 5	
基礎、基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 21 <input checked="" type="checkbox"/> 24	1 8	(+3)
柱、梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 21 <input checked="" type="checkbox"/> 24	2 1	比重 (+3)
	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	<input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24		比重
押入コンクリート	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	<input type="checkbox"/> 13.5 <input checked="" type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 18	1 5	比重

(2) コンクリートブロック (C B)

☐ A 種 ☐ B 種 ☐ C 種 厚 ☐ 100 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 190

㊦ 鉄 筋

	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> S D 2 9 5 A	D10、D13		<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手 (D10、D13、D16、D19、D22)
	<input type="checkbox"/> S D 2 9 5 B			
	<input checked="" type="checkbox"/> S D 3 4 5	D16以上		<input type="checkbox"/> ガス圧接継手 (上記以上)
	<input type="checkbox"/>			
丸 鋼	<input type="checkbox"/> S R 2 3 5			<input type="checkbox"/> 特殊継手
溶接金網	<input type="checkbox"/>	6×150×150		()

(4) 鉄 骨

	種 類	使用箇所	現場溶接	備 考
鋼 材	<input type="checkbox"/> S S 4 0 0 <input checked="" type="checkbox"/> S N 4 0 0 A <input type="checkbox"/> S N 4 0 0 B	梁・間柱	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> S T K R 4 0 0 <input type="checkbox"/> S T K R 4 9 0		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> S M 4 9 0 A <input type="checkbox"/> S M 4 9 0 B <input type="checkbox"/> BCR295	柱	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> S S C 4 0 0	隅 縁	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
備 考				

(5) ボルト

☐ 高力ボルト ☐ F 1 0 T ☐ S 8 T ☐ S 1 0 T 認定品 (☐ M 1 2 ☐ M 1 6 ☐ M 2 0 ☐ M 2 2)
☐ 中ボルト = = 高力ボルトすべり係数試験 否 要
☐ アンカーボルト S S 4 0 0 = 24 L = 520mm ナット (シングル、ダブル)
= 24 L = 450mm
☐ 頭付スタット = L = mm

(6) 屋根、床、壁

☐ A L C 版 厚 50mm
☐ 折版 型式 H = 厚
☒ デッキプレート 型式 QLデッキ 厚 QL99-50-12タイプ
☐ キーストンプレート 型式 厚
☐

3．地 盤

(1) 地盤調査資料

☐ 有 (☐ 敷地内 ☐ 近隣) ☐ ボーリング調査 ☐ 平板載荷試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定
☒ 無 (調査予定 ☒ 有 ☐ 無) ☐

㊦ 地盤調査計画

☒ ボーリング調査 ☐ 静的貫入試験 ☐ 標準貫入試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定
☐ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験 ☐

㊦ 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記する事)

地 盤 図	土 質	乙 種	標準貫入試験						調査地盤		
			1 0	2 0	3 0	4 0	5 0	6 0			
										位置図	
別 図 参 照											
										支持地盤、地層及び深さについてのコメント	
										孔内水位 G L - m	
										近隣データの調査地番と設計地番とは約 m の距離がある。	
										備考	

4．地業工事

㊦ 直接基礎 (庫裡(2) ☒ 独立基礎 ☐ 布基礎 ☒ ベタ基礎 試験杭 ☐ 有 ☒ 無

深さ G L - 図示 m、支持層 - 長期許容支持力度 KN / m² 載荷試験 ☐ 有 ☒ 無

(2) 杭基礎 (庫裡(1)

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
<input type="checkbox"/> R C <input type="checkbox"/> P C	R C (<input type="checkbox"/> A 種 <input type="checkbox"/> B 種 <input type="checkbox"/> C 種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> P H C <input type="checkbox"/> H 鋼	P H C (<input type="checkbox"/> A 種 <input type="checkbox"/> B 種 <input type="checkbox"/> C 種)	<input type="checkbox"/> 埋込み (セメントミルク工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 <input type="checkbox"/> S S 4 0 0 <input type="checkbox"/> S T K 4 0 0	<input type="checkbox"/>	大臣認定第 号 年 月 日
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 場所打ちコンクリート杭	コンクリート F c = スランプ cm セメント量 kg / m 鉄筋 主筋 S D HOOP S D	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 掘底杭 <input type="checkbox"/> リバースセキュレーション <input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース <input type="checkbox"/> B H <input type="checkbox"/> 深埋 <input type="checkbox"/> 手掘 <input type="checkbox"/> 機械掘	掘底杭 日本建築センター認定第 号 年 月 日

杭仕様 ☒ 施工計画書承認 ☒ 杭施工結果報告書
試験杭 (☒ 有 ☐ 無) (☐ 打ち込み ☒ 載荷) 48 本 基礎状囲み

杭径 (mm)	設計支持力 (t)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事

㊦ コンクリート

☒ コンクリートは J I S 認定工場の製品とし施工に関しては J A S S 5 による。
☒ セメントは、 J I S R 5 2 1 0 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
☒ 調査計画は、工事開始前に工事管理者の承認を得ること。
☒ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事管理者の承認を得ること。

☒ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

☒ 構造物コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (J A S S 5 T - 6 0 3) は、現場 水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が 1 5 0 m 3 をこえる場合は 1 5 0 m 3 ごまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をいた 3 台の運搬車からその必要本数を採取する。 なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。

☒ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。 ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が 従事すること。なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 2 5 未満の場合は 1 5 0 分、 2 5 以上の場合は 1 2 0 分以内とする。

㊦ 鉄 筋

☒ 鉄筋は J I S G 3 1 1 2 の規格品を標準とする。

☒ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。

☒ D 1 9 未満は、すべて重ね継手とする。 継手 (D 1 9 以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

☒ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (2 0 0 箇所を超えるときは、 2 0 0 箇所ごと) に 1 回行い 1 回の試験は 5 本以上とする。

外観検査 ☒ 有 ☐ 無 / 引張試験 ☒ 有 ☐ 無 / 超音波探傷試験 ☐ 有 ☐ 無

☒ 柱の帯筋 (H 0 0 P) の加工方法は、 ☒ H 型 (タガ型) ☐ W 型 (溶接型)
☐ S 型 (スパイラル型) とする。

☒ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第 4 条の試験機関で行うこと。
試験機関名 管理者の指定する試験機関
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

㊦ 型 枠

☒ 材料 合板厚 1 2 mm を標準とする。 ☐
☒ 型枠存置期間

中 間 部 の 支 撐 部	種 別 部 位	せ き 板				支 柱			
		基礎、梁側、柱、壁		スラブ上、梁下		スラブ下		梁下	
	早強ボルト ランドセメント	普通ボルト ランドセメント	早強ボルト ランドセメント	普通ボルト ランドセメント	早強ボルト ランドセメント	普通ボルト ランドセメント	早強ボルト ランドセメント	普通ボルト ランドセメント	
		高炉セメント A 種		高炉セメント A 種		高炉セメント A 種		高炉セメント A 種	
		シリカセメント A 種		シリカセメント A 種		シリカセメント A 種		シリカセメント A 種	
	15 以上	2	3	4	6	8	17	28	
	5 - 15	3	5	6	10	12	25	28	
	5 未満	5	8	10	16	15	28	28	
	コンクリートの 圧縮強度	5 0 N / mm ²		設計基準強度の 5 0 %		設計基準強度の			
					8 5 %		1 0 0 %		

注) 1 片持梁、底、スパン 9 . 0 m 以上の梁下は、工事監理者の指示による。
注) 2 大梁の支柱の盛りかえは行わない。 また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6．鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による。

☒ 日本建築学会「 J A S S 6 」 「鉄骨精度検査基準」 「鉄骨工事技術指針」
☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
☐

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

☐ 製作工場 ☐ 製作要領書 ☐ 工作図 ☐ 施工計画書
☐ 建設省告示第 1 1 0 3 号による認定工場 (大臣認定 グレードまたは都登録 ランク)
☐ 材料規格証明書または試験成績書
☐ 鋼材 ☐ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ スタッドボルト
☐ 社内検査表 ☐

(3) 工事監理者が行う検査項目

(印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
☐ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☐ 製品検査
☐ 建方検査 ☐

(4) 接合部の溶接は下記によること

☒ 東京都アーク溶接工事監理規程 (建築構造設計指針第 1 2 章)

☒ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第 1 2 章)

☒ 日本建築学会「溶接工作規程、同解説」、 、 、 、 、 、 、 、

(5) 接合部の検査

☒ 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率または検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
<input checked="" type="checkbox"/> 突合せ溶接部 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	超音波探傷試験	100%	100%	100%	
	外観（目視）検査	100%			
	マクロ試験・その他	100%			
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受け入れ検査を代行させるために 自ら契約した検査会社をいう。					

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

☐ 高力ボルトは「 J I S B 1 1 8 6 の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外径 2 倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あさが 5 0 S 以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

☐ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が 十分密着するように注意して行う。又、締付けは原則として 2 度締めとする。締付け後の検査は 各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

☒ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。 錆止めペイントは、 J I S K 5 6 2 1 2 回塗りを標準とする。

☒ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し 2 回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

☒ 石綿吹付 (ノンアスベスト) t - 25mm (屋根 30 分耐火)

㊦ ．設備関係

☒ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。

☒ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。

☒ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1 / 3 以下とし管の間隔を 5 cm 以上とする。

㊦ ．その他

☒ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

☒ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

☒ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

構造細目共通図

(鉄筋コンクリート造)

1.特記事項

1.1適用範囲

- (1)構造細目共通図は上水道施設1ご細ける土木・建築工事に適用する。
- (2)設計図(以下、図示という)及び構造細目共通図に記載きれていない事項は下記の優先順位で適用する。

土木工事	・特記仕様書	土木学会	(別紙による。)
	・土木工事一般仕様書		(平成 年版)
	・土木工事必修		(平成 年版)
建築工事	・コンクリート標準示方書・施工編	公共建築協会	(平成 年版)
	・特記仕様書		(平成 年版)
	・建築・建築設備工事一般仕様書		(平成 年版)
工事	・建築工事共通仕様書	最新版	(平成 年版)
	・建築・建築設備工事必修		(平成 年版)

- (3)項目は印のついたものを適用する。印のない場合は、印のあるものを適用する。印と印のある場合は、共に適用する。

1.2鉄筋の仕様

鉄筋の種類及び継手は1.1表による。

1.1表		
鉄筋の種類	種別	径
	S D 2 9 5 A	D 1 6 以下
鉄筋の継手	S D 3 4 5	D 1 9 以上
	ガス圧接	D 1 9 以上、D 2 9 以下の柱、梁主筋(地中梁を含む)
重ね継手		上記以外

1.2コンクリートの仕様

コンクリートは1.2表による。

1.2表					
部 位	分 類	コンクリート種別	強 度 (N/mm ²)	スラブ (c m)	セメント の種類
建築	土木VU+ECO体	普通 コンクリート	2.4	1.2	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB ・低熱形ポルトランドセメント
	地上	普通 コンクリート	2.1	1.8	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
	地下	普通 コンクリート	2.1	1.5	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB ・低熱形ポルトランドセメント
	梁 床板	普通 コンクリート	2.1	1.5	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB ・低熱形ポルトランドセメント
	・無筋コンクリート	普通 コンクリート	1.8	1.2	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
	・鉄コンクリート	普通 コンクリート	1.8	1.2	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB

注1、土木設計基準強度は ck(N/mm2)、建築設計基準強度は F_o(N/mm2)

1.4 砕石基礎工及び捨コンクリート工

砕石基礎工及び捨コンクリート工は1.3表による。

1.3表		
土木工事	種別	厚さ (mm)
	砂利または砕石	200
建築工事 (図示)	捨コンクリート	100
	砂利または砕石	60
	捨コンクリート	60

2.共通事項

2.1記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2.1及び2.2表を標準とする。

2.1表 鉄筋の断面表示								
	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	○	×	∅		○	○	⊗	⊙
土木	又は建築による。							

記 号 , 符 号	内 容	印の説明及び注意事項
F	フーチング断面種別	番号
1 C 2	柱断面種別	1 階数 2 その階の番号
1 G 2	大梁断面種別	1 階数、地中大梁はFとする 2 その階の番号 X方向1、2、3…… Y方向A、B、C……
1 G 2	片持大梁断面種別	番号、階別区分はしない
1 B 2	小梁断面種別	1 地中小梁のみFとする。 2 階別区分はしない 地中小梁を除く
C B	片持小梁断面種別	番号、階別区分はしない
1 W 2	壁配筋種別	1 E：耐震壁、K：階段壁 D：土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない 2 壁圧(6m)
1 S 2 3	床配筋種別	1 片持床版のみCとする 2 床版厚(c m) 3 肯筋種別(英大文字) 階別区分はしない
1 K 2	階段の配筋種別	1 A：片持床版形 B：二辺固定床版形 2 配筋種別(数字) 階別区分はしない
C B	コンクリートブロック壁	壁厚 (c m)
	打ち増し範囲	
	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの+、-に 応じた凡例により表示
()	床用積載荷重	積載荷重の値 (k N/m ²)
S T P	あばら筋・スターラップ	梁、基礎梁、小梁
H O O P	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S、H O O P	スパイラル筋、らせん筋	柱
D、H O O P	ダイヤ筋	柱
巾止め筋	巾止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組み立て筋	床版、底盤

2.2一般注意事項

- (1) 図面記載の積載荷重は、設計荷重である。プラントメーカー決定後は、積載荷重及び位置の確認を行い、監督職員の承諾を受けること。
- (2) 耐震壁に開口をあける場合、または設計図を変更する場合は監督職員の承諾を受けること。
- (3) 原則として大梁、小梁の貫通は行わない。やむを得ず梁貫通を行う場合は、監督職員の承諾を受けること。




3.鉄筋の曲げ加工

鉄筋の曲げ加工は、3.1表及び3.2表を標準とする。

(1) Dは、曲げ内径直径を示す。

(2) dは、呼び名に用いた数値を示す。

3. 1表 末端部					
曲げ 角度	折 曲 げ 図	すべてのコンクリート			使 用 箇 所
		S D 2 9 5 A S D 3 4 5			
		D 1 6 以下	D 1 9 ～ D 3 8		
1 8 0 °		D	3 d 以上	4 d 以上	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D 1 6 以上の鉄筋
1 3 5 °		D	4 d 以上	4 d 以上	D 1 3 以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
9 0 °		D	4 d 以上	4 d 以上	T形及びL形梁の あばら筋
1 3 5 ° 9 0 °		D	4 d 以上	4 d 以上	幅止め筋

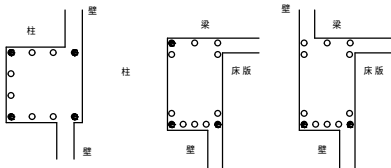
3. 2表 中間部						
曲げ 角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使 用 箇 所	
		S D 2 9 5 A S D 3 4 5				
		D 1 6 以下	D 1 9 ～ 2 5	D 2 9 ～ 3 8		
90° 以下		D	3 d 以上	4 d 以上	...	 あばら筋、帯筋 スパイラル筋
		D	4 d 以上	6 d 以上	8 d 以上	その他鉄筋

4 異形鉄筋の末端部

4.1フックを設ける位置

異形鉄筋の末端部には、4.1表によりフックを設ける。

部 位		継手方式		備 考
		重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	1) 最上階の柱頭 2) 継手部	1) 最上階の柱頭	4.1図の 印 8.1図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	1) 下階の柱主筋を 引き通す事が 出来ない柱頭部	1) 下階の柱主筋を 引き通す事が 出来ない柱頭部	4.1図の 印 8.2図参照
	帯筋(HOOP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	9.1図参照
梁	主筋	1) 出隅及び下端筋 の間隔、基礎梁 と水槽部は除く		4.1図の 印
	あばら筋(STP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	1.1.1図参照
桁梁底	独立フーチング基礎の底盤筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	1.6.1図参照
煙突の鉄筋		1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる 場合を含む
巾止め筋				3.1表参照



5.鉄筋のかぶり及び間隔

5.1かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋の外面からVU+ECO体面までの距離(5.1図)をいう。

施工におけるかぶり厚さは、最小かぶり厚さを確保するものとする。

5.2所要かぶり厚さ

所要かぶり厚さ=最小かぶり厚さ+施工誤差

5.3最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、5.1表による。

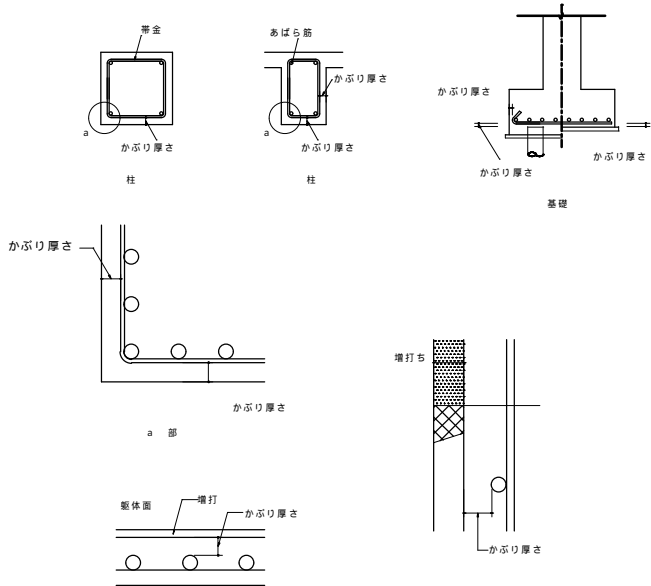
(1)床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには捨コンクリートの厚さを含まない。

(2)柱及び梁の主筋に異形鉄筋D29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上としとして最小かぶり厚さを定める。

(3)溶接金網にも適用する。

5.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)			
構造部分の種別		通常の施工の場合	耐久上不利な箇所 塩害対策を 必要とする部位
一 般	床、壁	30	50(70)
	柱、梁	(30) 40	50(70)
土、水に 接する場合	床、壁	50	50
	柱、梁	50	50
海水に接する場合		70	100
水中施工の場合		100	100
底盤、基礎上端		60	70
底盤 基礎下端	杭無し	60	70
	杭有り	50	50
高熱を受ける部分		60	70

- 1：打継目地部分は仕上げなしとみなし、目増底よりかぶりを確保する。
- 2：上部に建築外壁面(増し打ち30)を有する場合には60とする。
- 3：杭先端からのかぶり厚さとする。
- 4：塩害の影響を受けない部位は、通常の施工の場合を用いる。
()内の値は沖縄県、電気大島、または直接しびきを受ける地域(塩害対策指針)
- 5：()内の数値は、建築工事の厚さを示す。

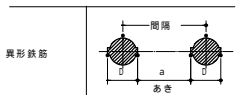


5.1図

5.4 鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあきは、下記の最大値(a)以上とする。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.35倍
(2) 25mm
(3) 異形鉄筋の径(呼び名の数値)の1.5倍



(注) D：鉄筋の最外径 d：鉄筋径(呼び名)

5.2図

5.2表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 (mm)		鉄筋相互のあき：a			最小鉄筋芯間 a+D
d	D	(1) 粗骨材径×1.35	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	
D10	11	粗骨材 最大径 25mm の場合	25mm	15mm	45mm
D13	14			20mm	48mm
D16	18			24mm	52mm
D19	21			29mm	55mm
D22	25			33mm	59mm
D25	28			38mm	66mm
D29	33			44mm	77mm

6 鉄筋の継手及び定着

6.1 鉄筋の継手及び定着

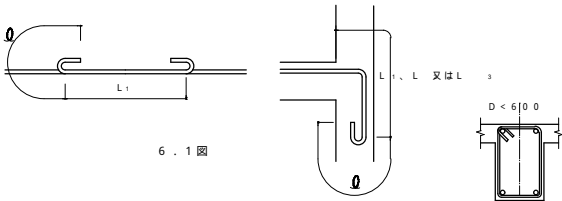
- (1) 径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。
(2) 鉄筋の継ぎ手及び定着の長さは、6.1表による。
ただし、主筋実間隔が100mm未満の場合は、特記による。

6.1表 鉄筋の継ぎ手及び定着の長さ (主筋実間隔100mm以上)

鉄筋の 種 別	設計基準 値 度 F _o (N/mm ²)	フックなし				フックなしあり			
		L1	L2	L3	L4	L1	L2	L3	L4
				その他	床版			その他	床版
SD295A SD345	21以上 27未満	40d (50d)	35d (40d)	25d	10d かつ 50mm 以上	30d (40d)	25d (35d)	15d	180° 曲げ フック
		55d (65d)	35d (40d)	25d	10d かつ 50mm 以上	55d (65d)	25d (35d)	15d	180° 曲げ フック

注1.()内の値は、土木構造物のD25以上の場合とす
注2.土木構造物で重ね継手を交互に行う場合は上段、それ以外は下段
による。
注3.上段の値は建築構造物に適用する

- (3) フックのある場合のL1、L2及びL3は、6.1図に示すように
フック部分 を含まない。



6.1図

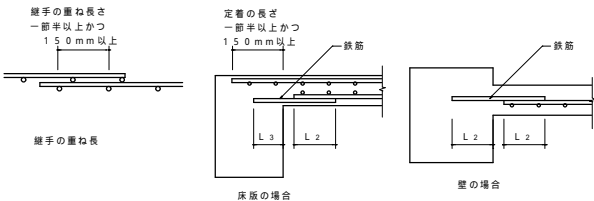
(4) 隣り合う継手の位置

隣り合う継手の位置は、6.2表により、a寸法を守る。
ただし、柱・梁・耐圧盤及び水圧を受ける壁に適用する。

6.2表 隣り合う継手の位置

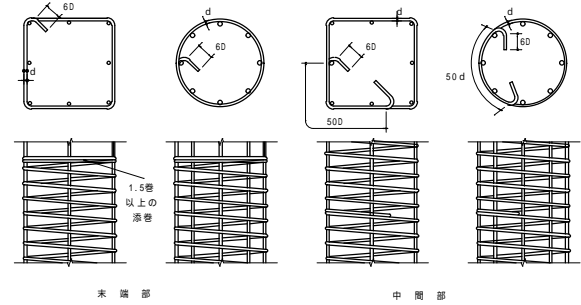
重ね 継手	フック	重ねる場合	離す場合
		$Q = 0.5L_1$	$a \geq 0.5L_1$
	有る場合		
	無い場合		
圧 接 継 手			$a \geq 400\text{mm}$

- (5) 溶接金網の継手及び定着は、6.2図による。



6.2図

- (6) スパイフル筋の継手及び定

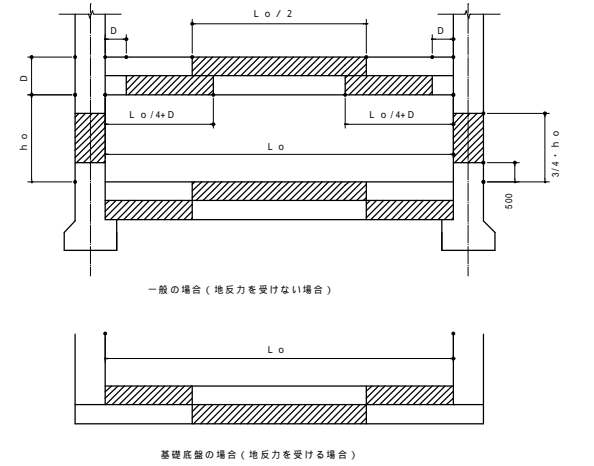


6.3図

7 柱及び大梁筋の継手位置

7.1 継手及び圧接中心位置

- 継手及び圧接中心位置は、図示なき限り7.1図による。
(1) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、かつ
3/4 h_o (h_oは柱の内法高さ) 以下とする。
(2) 梁の継手及び圧接中心位置は下記による。
上端筋 中央 L_o/2以内
下端筋 両端 柱面より梁せい(D)以上離し L_o/4以内
(3) 通常の応力と異なる場合の継手位置は、7.1図によらず図示
による。



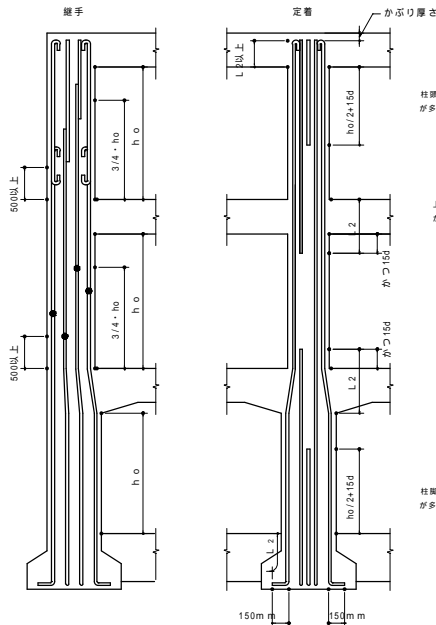
7.1図

は継手位置を設けても
良い位置を示す

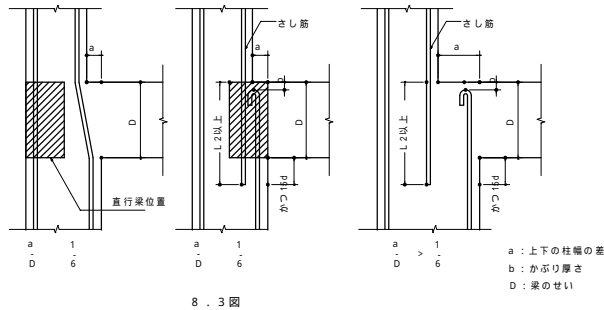
8 柱筋の継手及び定着

8.1 一般事項

- (1) 継手長さはL1とし、定着及び余長は、8.1図による。
(2) 柱頭定着長さL2が確保出来ない場合は、柱頭の柱主筋全数に
フックを設けるものとする。
(3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げは、8.2図による。



8.1図



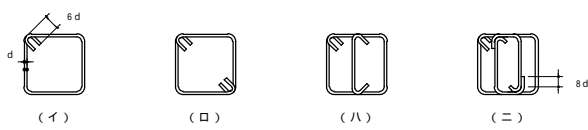
8.3図

9 帯筋

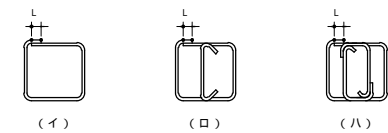
9.1 帯筋の形状

- (1) 帯筋の形状は、9.1図とし、種別は図示による。図示がなければ
下記による。
(a) H形とする。
(b) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とす
る。
(c) 更に、W-I形が困難な箇所は、監督員の承諾を受けて、W
-I形とすることが出来る。
(d) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d
以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
(e) S-P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の巻
き添えを行う。

- ・H形



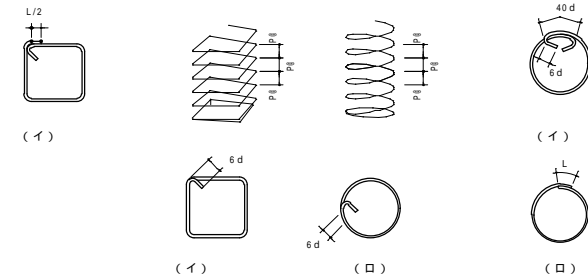
- ・W-I形



- ・W-I形

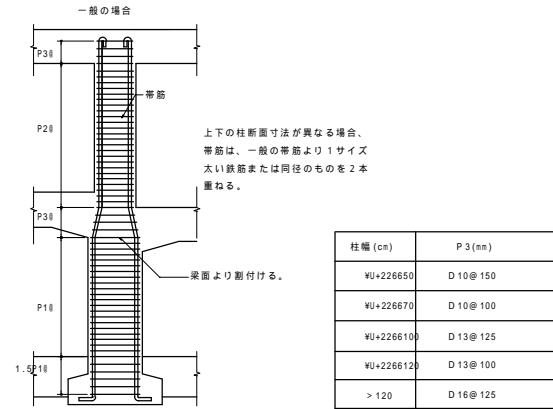
- ・S-P形(スパイラル筋)

- ・丸形



9.2 帯筋の割り付け

- (1) フック及び継手の位置は交互とし、位置を換える。
(2) 帯筋の割り付けは、9.2図による。ただし、図示のある場合
はそれによる。
(3) 柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、
0.2%以上を確保する。



9.2図

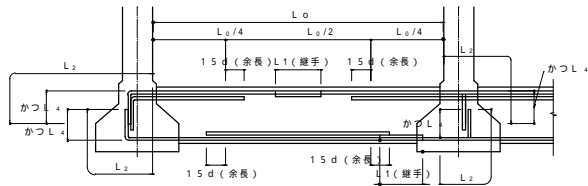
1 2 基礎梁及び底盤の継手及び定着

1 0 . 1 一般事項

- (1) 上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。
- (2) 梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。
- (3) 梁筋を柱内に定着する場合は、基本定着以上かつ、柱の中心軸を越えてから縦にL4以上を定着させる。(1 2 . 1 図)
- (4) 柱幅<梁幅の場合の定着は、1 2 . 3 (2) の 1 2 . 3 図による。
- (5) 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- (6) 破線は、柱内定着を示す。

1 2 . 2 基礎梁の場合

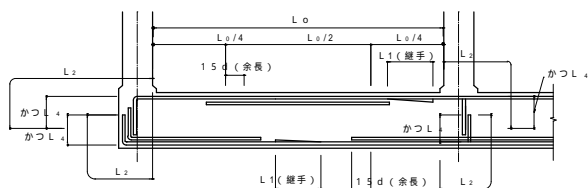
- (1) 基礎梁の継手及び定着は、1 2 . 1 図による。



1 2 . 1 図

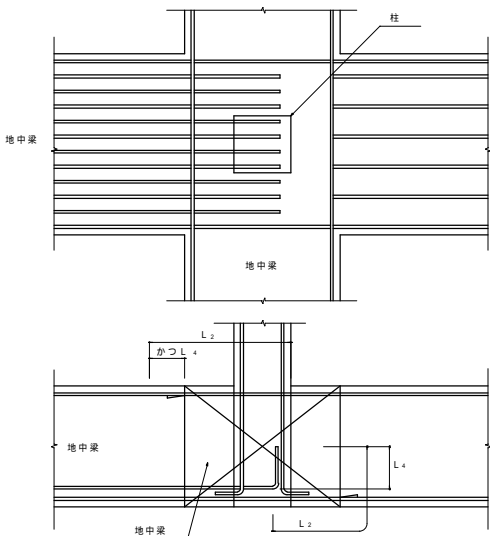
1 2 . 3 連続基礎及びべた基礎の場合

- (1) 柱幅<梁幅の場合、1 2 . 2 図による。



1 2 . 2 図

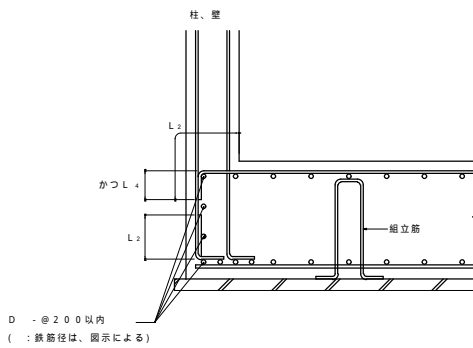
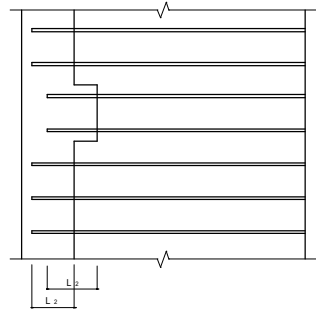
- (2) 柱幅<梁幅の場合、1 2 . 3 図による。
- (a) 交差部のスターラップを設ける場合は、図示による。



1 2 . 3 図

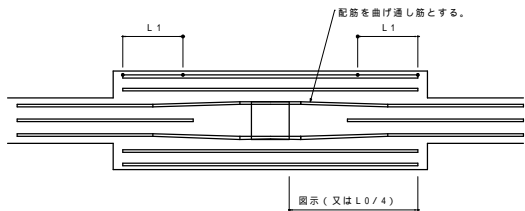
1 2 . 4 梁形を設けない場合の基礎底版

- (1) 定着の取り方は、壁及び柱の面からとする。
- (2) 途中で配筋が変わる場合の定着は、1 2 . 1 図のように基礎底盤筋を梁筋と読みかえる。



1 2 . 4 図

- (3) 鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



1 2 . 5 図

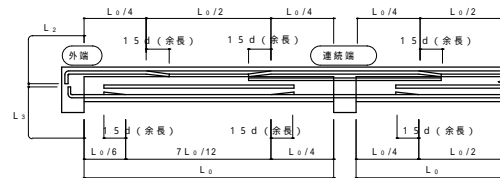
1 3 小梁及び片持ち梁の配筋要領

1 3 . 1 一般事項

- (1) 図示のない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
- (2) 印は、継ぎ手及び余長を示す。

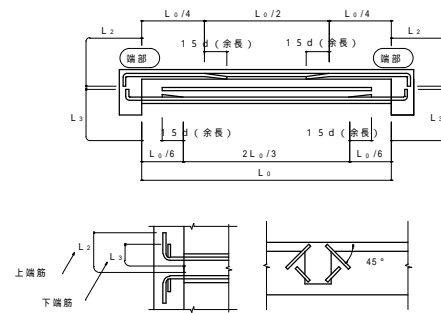
1 3 . 2 小梁

- (1) 連続小梁の場合は、1 3 . 1 図による。



1 3 . 1 図

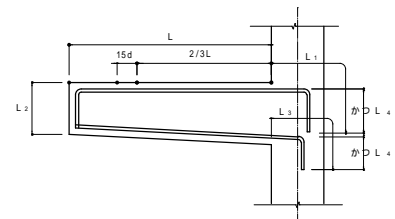
- (2) 単独小梁の場合は、1 3 . 2 図による。



1 3 . 2 図

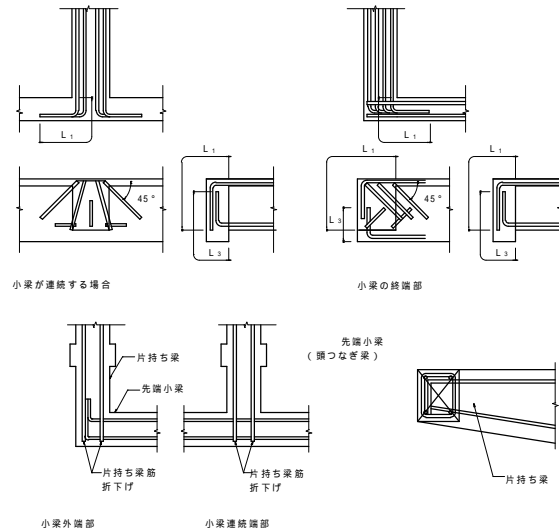
1 3 . 2 片持ち梁筋の定着

- (1) 先端に小梁のない場合は、1 3 . 3 図による。
- a . 先端の折曲げの長さLは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- b . 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2 本以上を柱に定着する。



1 3 . 3 図

- (2) 先端に小梁がある場合は、1 3 0 4 図による。
- a . 上端筋は、小梁内に斜めに定着する。

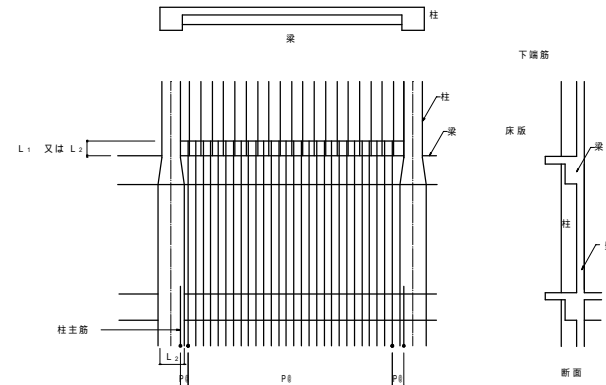


1 3 . 4 図

1 4 壁の配筋要領

1 4 . 1 一般事項

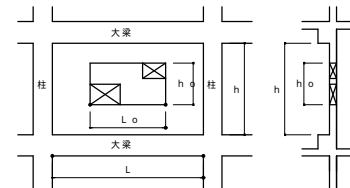
- (1) 壁配筋の継手及び定着の長さは、L2とする。
- (2) 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図示されたものは、継手長さをL1、定着長さはL2とする。
- (3) 継ぎ手及び定着のとれない場合は、監督員の承諾を受けて、両面フレア溶接の場合は5 d 以上、片面フレア溶接の場合は1 0 d 以上とすることができる。
- (4) 幅止め筋は、縦、横とも1 0 0 0 @程度とする。
- (5) 一般部壁筋は、1 4 . 1 図による。



1 4 . 1 図

1 4 . 2 耐震壁の開口

- (1) 耐震壁等の開口は、図示以外は設けてはならない。
- (2) やむを得ず開口を設けなければならない場合は、2 . 2 (2) により実施する。ただし、その場合においても最大開口率は、1 4 . 2 図により(1 4 . 1 式) を満足させる。

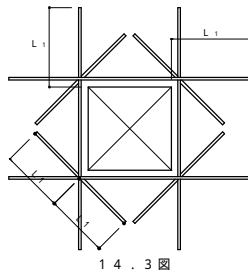


1 4 . 2 図

$$\left(\sqrt{\frac{h_o \times L_o}{h \times L}} \right) \text{ かつ } \frac{L_o}{L} \leq 0.4 \quad (1 4 . 1 式)$$

1 4 . 3 壁開口部の補強

- (1) 壁開口部の補強は、図示による。補強筋の長さ及び位置は、1 4 . 3 図を標準とする。



1 4 . 3 図

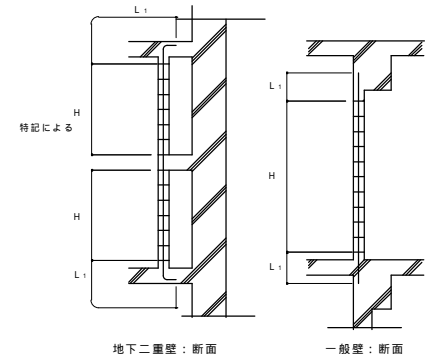
:鉄筋径及び本数は、図示による

- (2) 壁開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

- (1) 原則として、1 4 . 4 図 a 形を標準とする。
- (2) O B 積みの高さまたは幅は、1 4 . 1 表の値を最大としその上部または下部に同厚の鉄筋コンクリート壁、もしくはその両側に鉄筋コンクリートリブ壁を設ける。

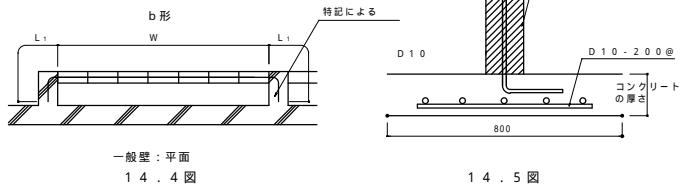
C、B 厚	H または W の最大値
100	2、400
200	3、000
150	3、400
200	3、400

a 形 - 2



地下二重壁：断面

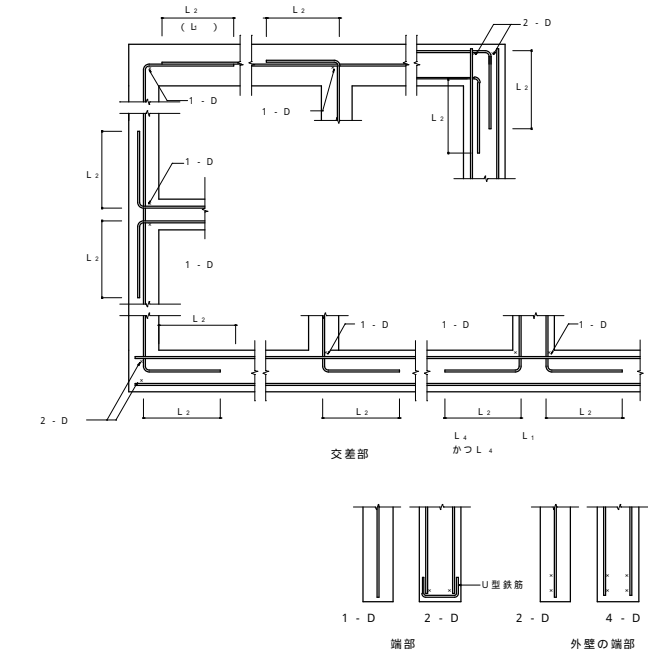
一般壁：断面



一般壁：平面

1 4 . 5 ☒

- (1) 壁と壁の交差部、厚さ $t < 300$ のときは、14.6図による。
- a. 交差部補強筋 D は D13 以上、かつ壁主筋と同径とする。
- b. () 内は、土圧、水圧及び耐震壁等の継手長さを示す。
- c. U型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。



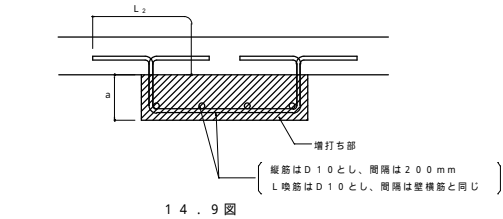
-
- 一般の場合のL形交差部
- ハンチを設けた場合のL形交差部

1 4 . 7 ☒

-
- 一般の場合の L 形交差部
- ハンチを設けた場合の L 形交差部
- (1) 中間部の交差部
- (2) 中間部の交差部
- (3) 中間部の交差部
- 最下階の交差部
- 最下階中間部の交差部
- 14.8 図

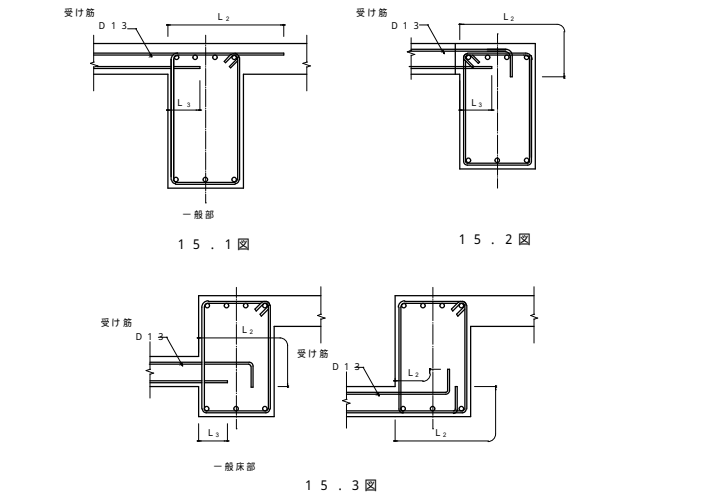
1 4 . 8 ☒

(1) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、14.9図による。
打増し厚さが50mm以上、200mm以下に適用する。
200mmを越える場合は、特記による。



14.9 图

- (1) 鉄筋の継手長さは、L1とする。
- (2) 定着長さ及び受け筋は、1.5 × 1図による。ただし、引き通すことのできる場合は、1.5 × 3図により梁内に定着する。
- (3) 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打て掛けを設ける場合の補強は図示による。図示がなければ、1.85図による。
- (4) D'は、D 1.3以上または主筋径と同等以上とする。
- (5) 床版厚さが300mm以上の場合は、組立筋を設ける。
- (6) 床版厚さが300mm未満の場合は、鋼製スプーサーを設ける。



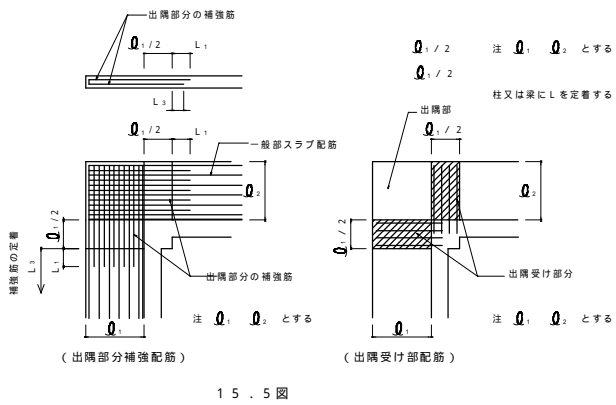
1 5 . 3

Figure 15.4 illustrates the reinforcement details for a beam-column joint. The diagrams show the arrangement of reinforcement bars (D10, D13) and the dimensions (L1, L2, L3, L600) for the joint. The reinforcement is provided in the form of a mesh (D10 - 200 @) and is anchored into the column (D13). The joint is designed to resist seismic forces.

1 5 . 4 ☒

(1) 補強の配筋は図示による。配筋方法は、15.5図による。
特記にない場合は、D 10 100 ダブルとする。

(2) 出陳受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図示(幅は $\phi_{1/2}$ とする)



1 5 . 5 図

(1) 出隅及び入り隅部分には、15.6 図により、補強筋（溶接金網）を上端筋の下側に配筋する。。

-

1 5 . 6

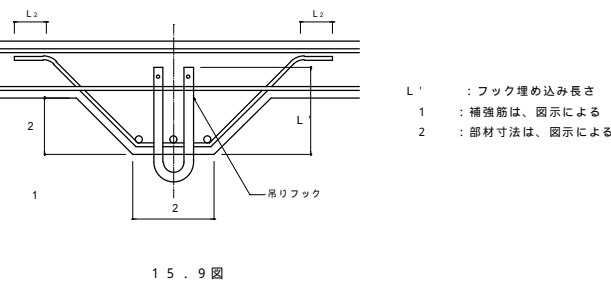
Technical drawings of a 150mm diameter pipe with a 70mm diameter hole. The left drawing shows the side view with dimensions: hole diameter 4-D, hole depth H, and a distance of 5H from the hole center to the pipe end. The right drawing shows the top view with dimensions: hole diameter 4-D, hole depth H, and a distance of 350mm from the hole center to the pipe end. The right drawing also shows a dimension of 70mm from the hole center to the pipe end, which is less than H, and a dimension of 150mm from the hole center to the pipe end, which is greater than H.

1 5 . 7 ☒

Figure 15.8 is a technical diagram illustrating the layout of a square plate with a central square hole. The plate has a side length of 150 mm. The hole has a side length of 80 mm. The diagram shows the arrangement of reinforcement bars (鉄筋) and the resulting shape after cutting out the hole. Labels include L_1 , n_1 , and $(n_1/2)$.

15.8%

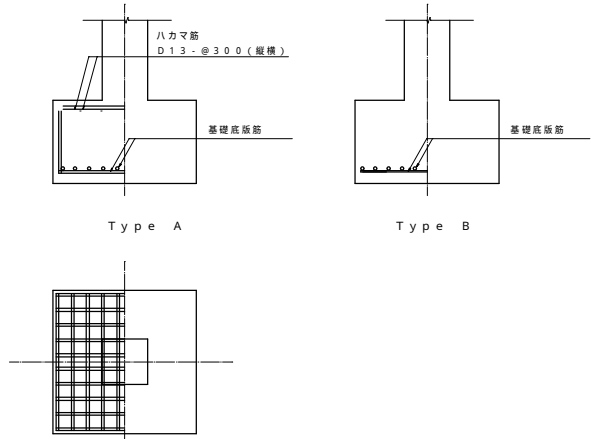
- (1) 梁取付を原則とする。ただし、土木構造物で床版等が厚い場合は梁型として検討する。



1 5 . 9 ☒

1 6 . 1 フーチングの補強

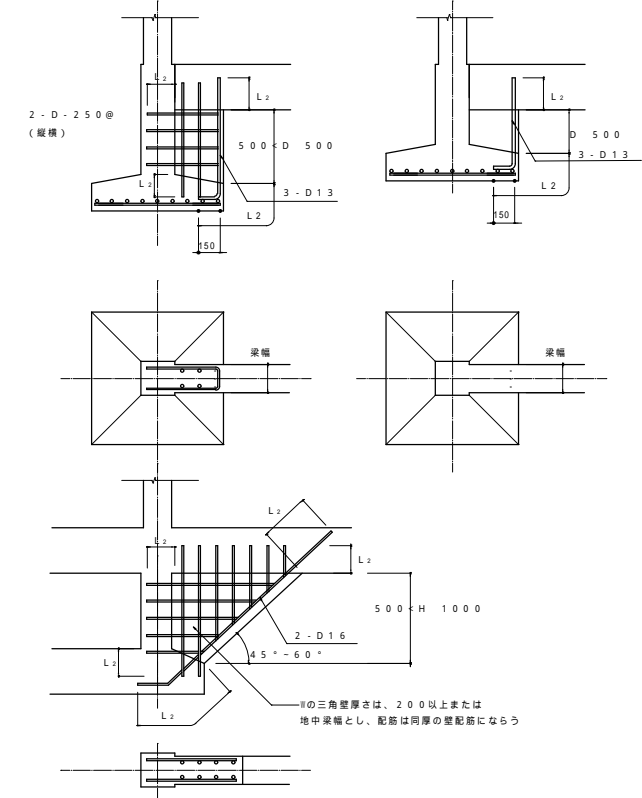
(1) 補強方法は図示による。
軽微な場合はType Bとする。



1 6 . 1 図

(2) 基礎底筋の配置は図示による。

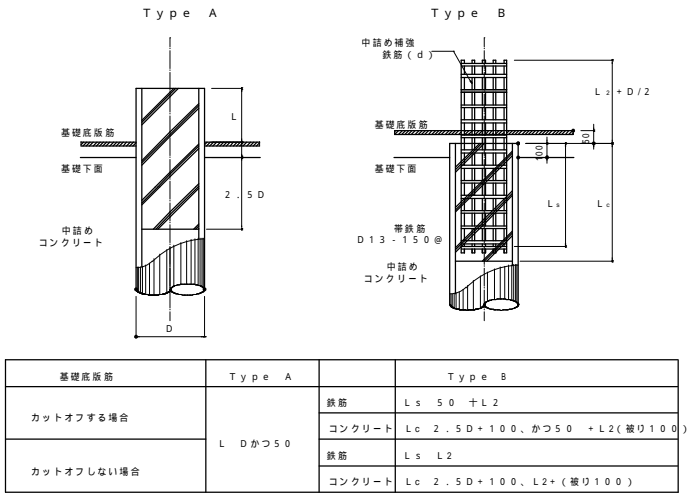
1 6 . 2 基礎接合部の補強



1 7 杭基礎の補強

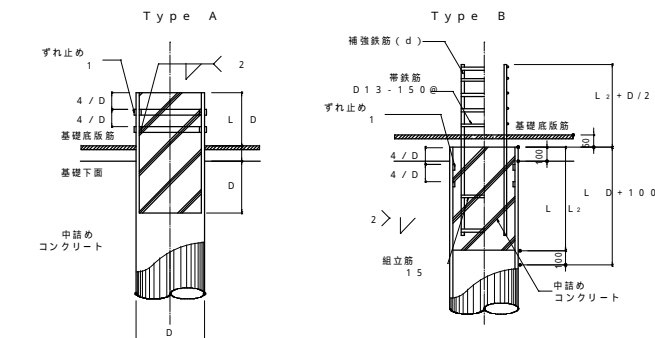
1 7 . 1 杭基礎の補強

(1) 抗菌補強の方法は、1 7 . 1 図～1 7 . 4 図において、建築工事はTypeAを、それ以外はType A又はBを標準とする。
(2) 中詰めコンクリートは、基礎と同じ仕様のコンクリートを使用する。
(3) 鉄筋種別、径は、図示による。。



注1、 は、P C鋼棒径とする。

1 7 . 1 図 P H C 杭の杭頭補強

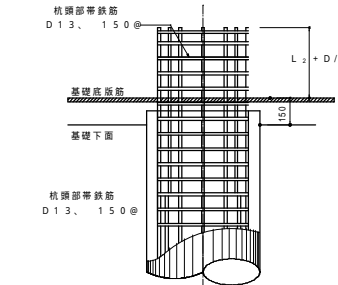


1 : ずれ止めの大きさは、1 7 . 1 表による。
2 : 全周現場すみ肉溶接
3 : 補強筋の種別は、S D 3 4 5 とする。

1 7 . 2 図 鋼管杭の杭頭補強

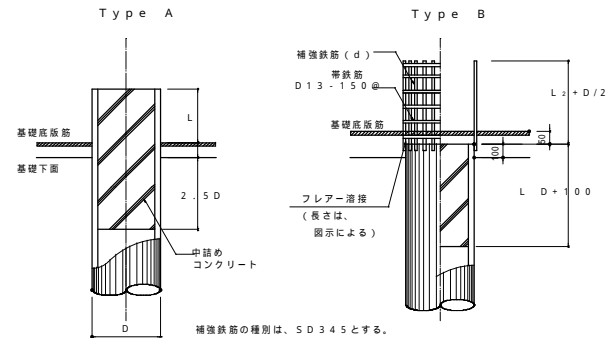
1 7 . 1 表 杭体内外ずれ止めの肉厚

杭 径 (D)	ずれ止め厚さ
D < 8 0 0	9
8 0 0 < D < 1 2 0 0	1 2
1 2 0 0 < D < 1 5 0 0	1 6



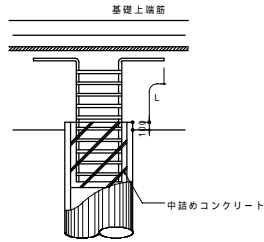
建築工事においては、基礎内の杭主筋長は杭天端からL1とし、基礎内の帯筋は省 略する。

1 7 . 3 図 場所打ち杭の杭頭補強



1 7 . 4 図 S C 杭の杭頭補強

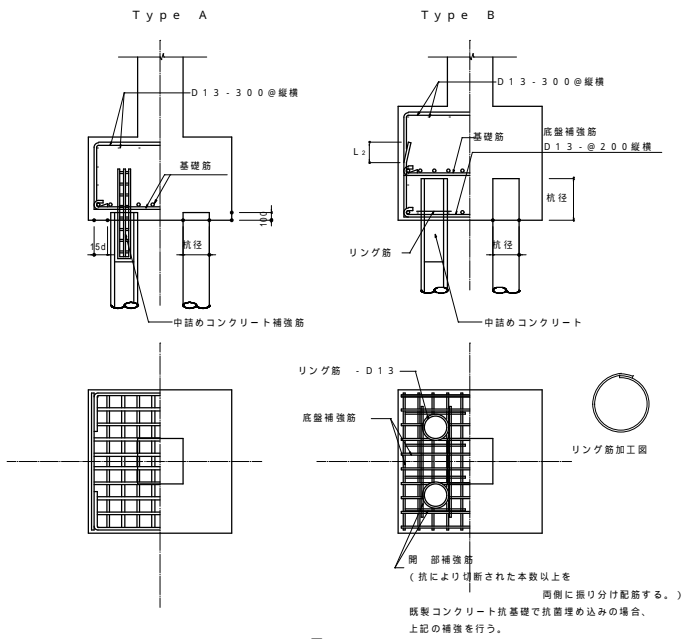
4) 杭頭補強鉄筋が底盤厚より長くなる場合は、1 7 . 5 図による。



L : 必要定着

1 7 . 5 図

1 7 . 2 杭基礎の配筋方法



1 7 . 6 図

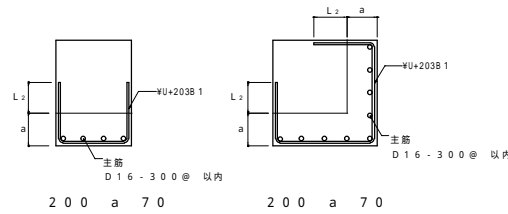
1 7 . 3 基礎接合部の補強

(基礎接合部の補強は、1 6 . 2 に倣う。

1 8 柱及び梁の増し打ち要領

1 8 . 1 柱

(1) 増し打ちコンクリートの補強は、1 8 . 1 図による。
ただし、a < 7 0 の場合は補強は行わない。



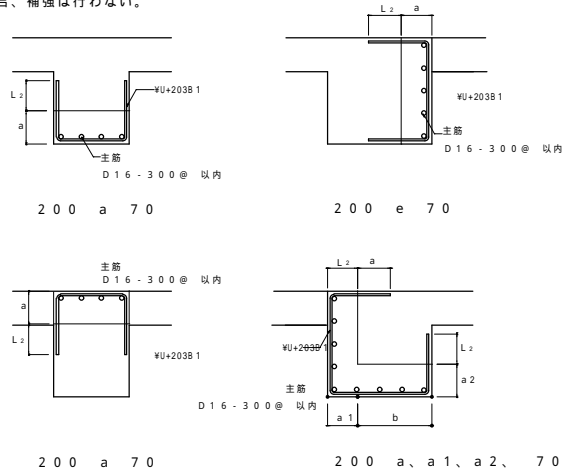
1 . あばら筋と同径・同ピッチとする

1 8 . 1 図

(2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。
(3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、L2以上とする。
(4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。。

1 8 . 2 梁

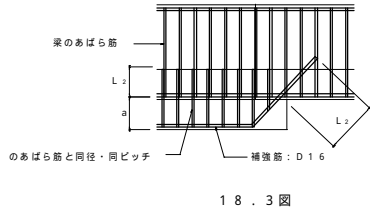
(1) 打増し幅 (a) が7 0 以上2 0 0 以下の部分は、増し打ちコンクリートの 補強は、1 8 . 2 図による。ただし、a < 7 0 の場合、補強は行わない。



1 . あばら筋と同径・同ピッチとする

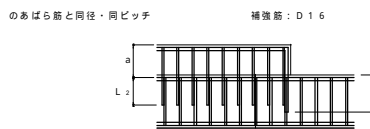
1 8 . 2 図

(2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。
(3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、L2以上とする。
(4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、主筋にならう。
(5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合は、I B . 3 図による。



1 8 . 3 図

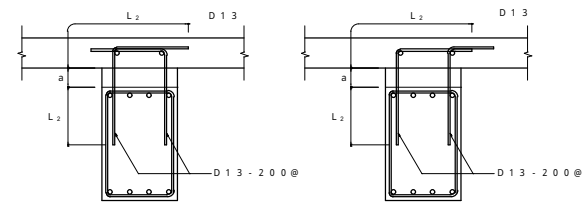
(6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合は、1 8 . 4 図による。



1 8 . 4 図

1 8 . 3 土間スラブの打継ぎ補

基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は、特記による。



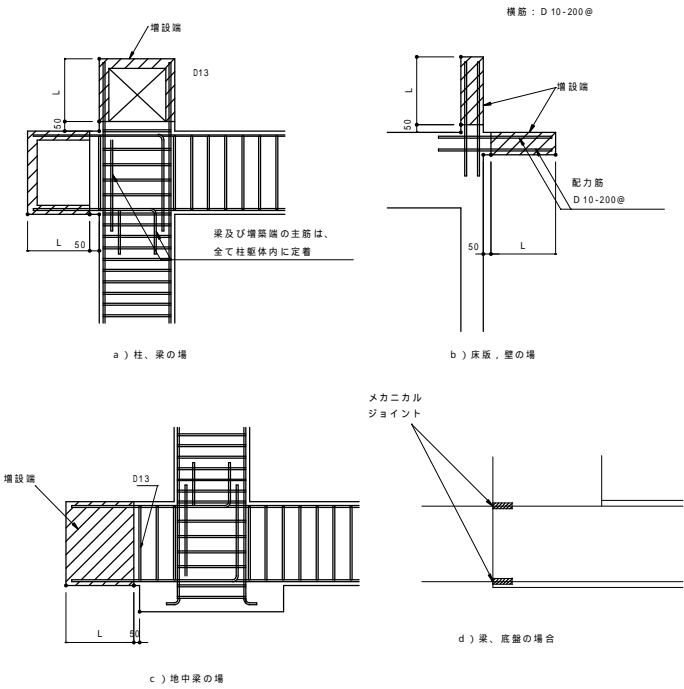
a 3 0 0 m m

1 8 . 5 図

1 9 増築予定端

1 9 . 1 増築予定端の配筋

- (1) L は、L 1 かつ 1 m 以上とする。
(2) 増設端の主筋は、図示による。
(3) 増設端の柱帯筋及び梁あばら筋は、D 1 0 - 2 0 0 @ とする。
(4) メカニカルジョイントは、「日本建築センター」の評定のあるものとする。

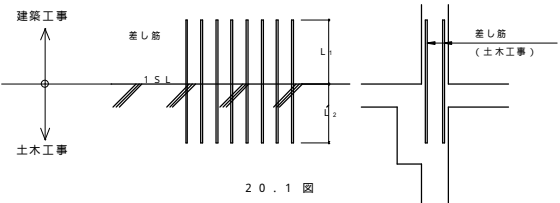


1 9 . 1 図

2 0 土木部分と建築部分の取り合い

2 0 . 1 壁縦陥の取り合い

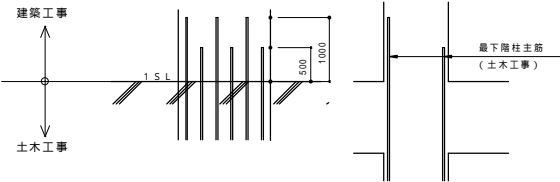
- (1) 土木工事において、1 階伏図及び建築 1 階壁配筋図を参考に
地中壁または梁に 2 0 . 1 図によるさし筋を行うこと。



2 0 . 1 図

2 0 . 2 柱主筋の取り合い

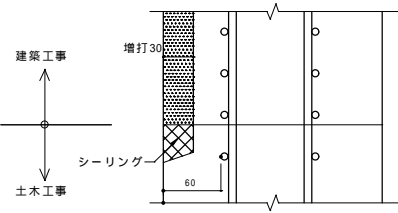
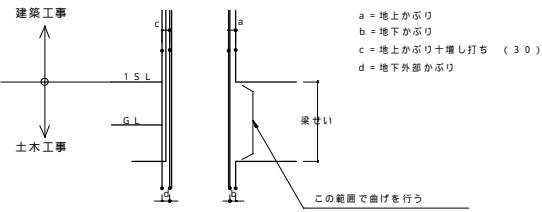
- (1) 土木最上部の柱主筋は、1 階建築部分の柱断面に応じ、
2 0 . 2 図の 圧接位置まで延ばすこと。



2 0 . 2 図

2 0 . 3 柱主筋かぶり厚の取り合い

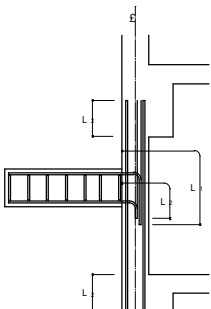
- (1) 柱主筋のかぶり厚さの違いによる曲げ直しは、梁せいの内で行う。



2 1 階段の配筋要領

2 1 . 1 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、特記による。
(2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。
(3) 床版配筋の継手及び定着は、L3 とする。



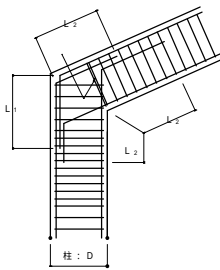
2 1 . 1 図

2 2 勾配屋根の取り合い

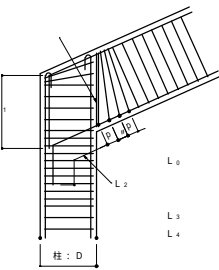
2 2 . 1 斜め柱・斜め梁の取り合い

- (1) 印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。

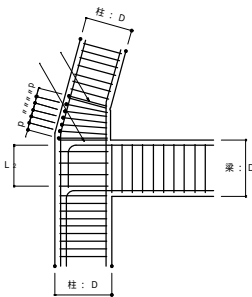
a) 柱幅と斜材 (柱又は梁) 幅が同一



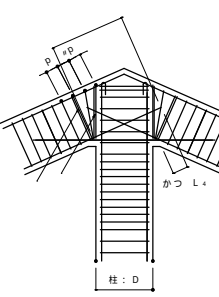
a) 柱幅と斜材幅が異なる



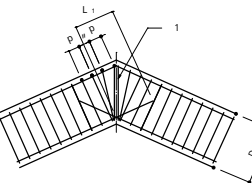
c) 柱脚で斜材となる



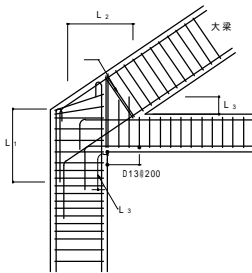
d) 柱頭で斜材となる



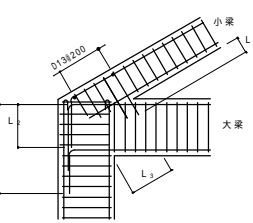
e) 梁が斜材となる



f) 斜め大梁に小梁が接する場合



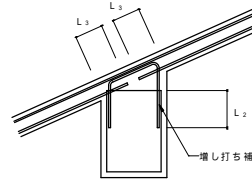
g) 大梁に斜め小梁が接する場合



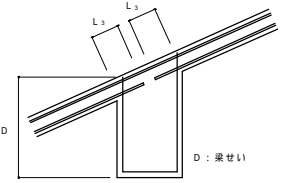
2 2 . 1 図

2 2 . 2 梁と床版の取り合い

- 増し打ち補強要領は、1 8 . 2 による。



Type A



Type B

2 2 . 2 図

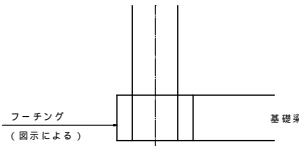
2 2 . 3 円柱の取合い

- (1) 円柱と梁の取合いは、8 . 1 による。



1) 柱頭部で柱芯に梁が
取り付く場合

2) 柱頭部で柱外面に梁が
取り付く場合

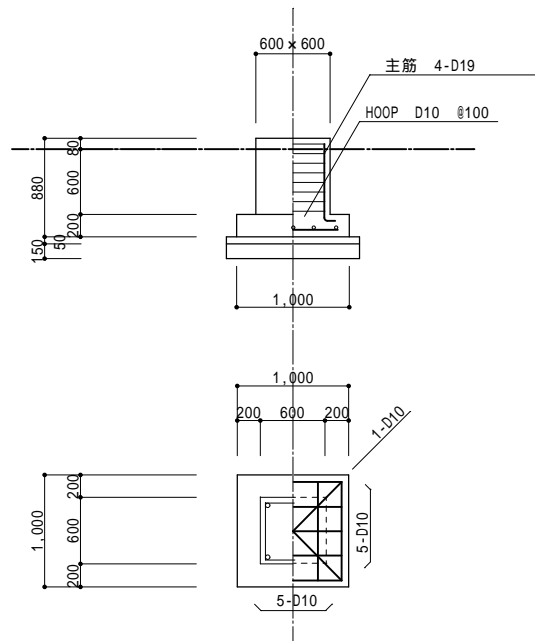
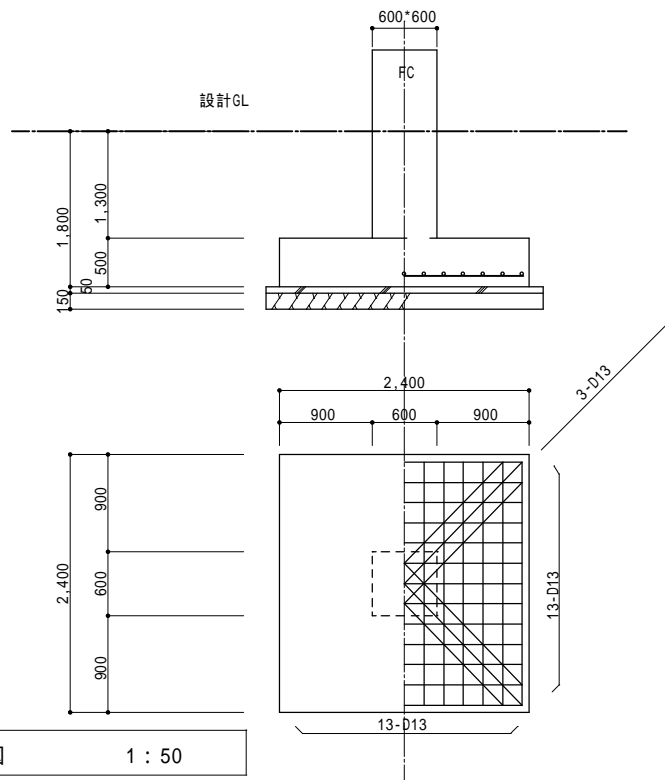


3) 柱脚部の円柱と基礎との
取合い

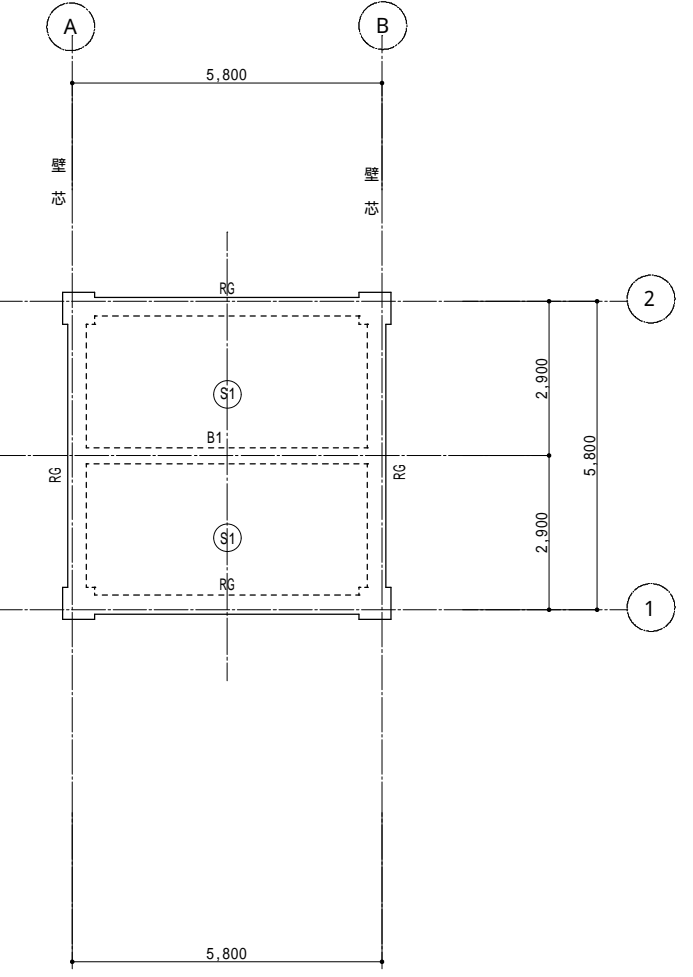
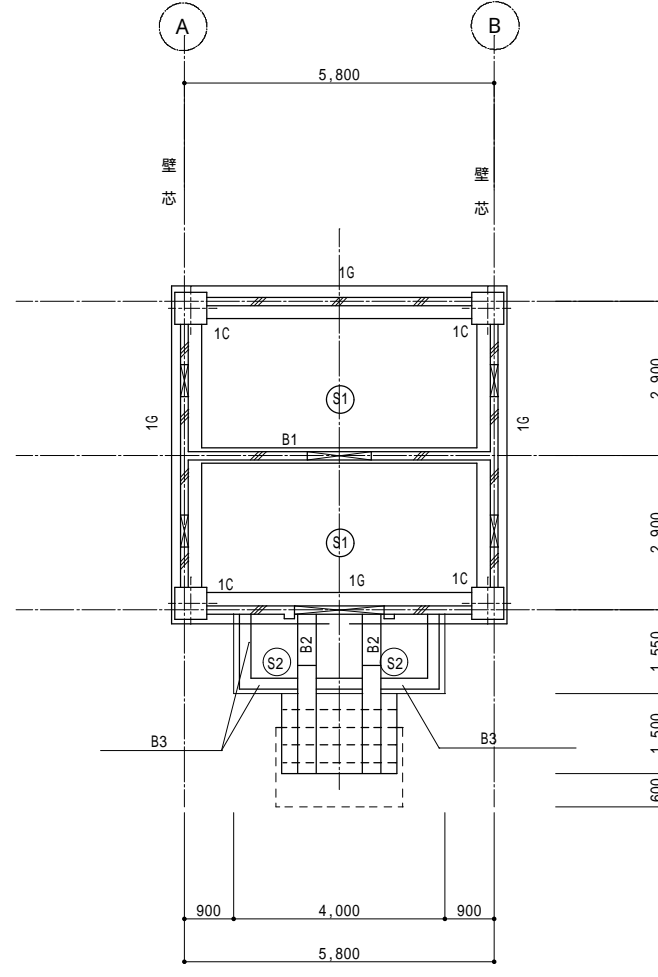
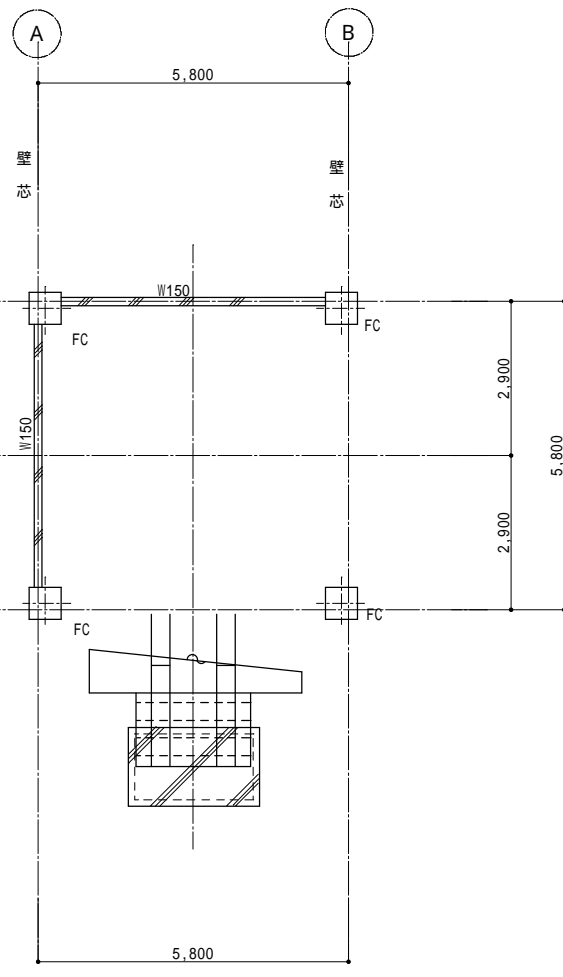
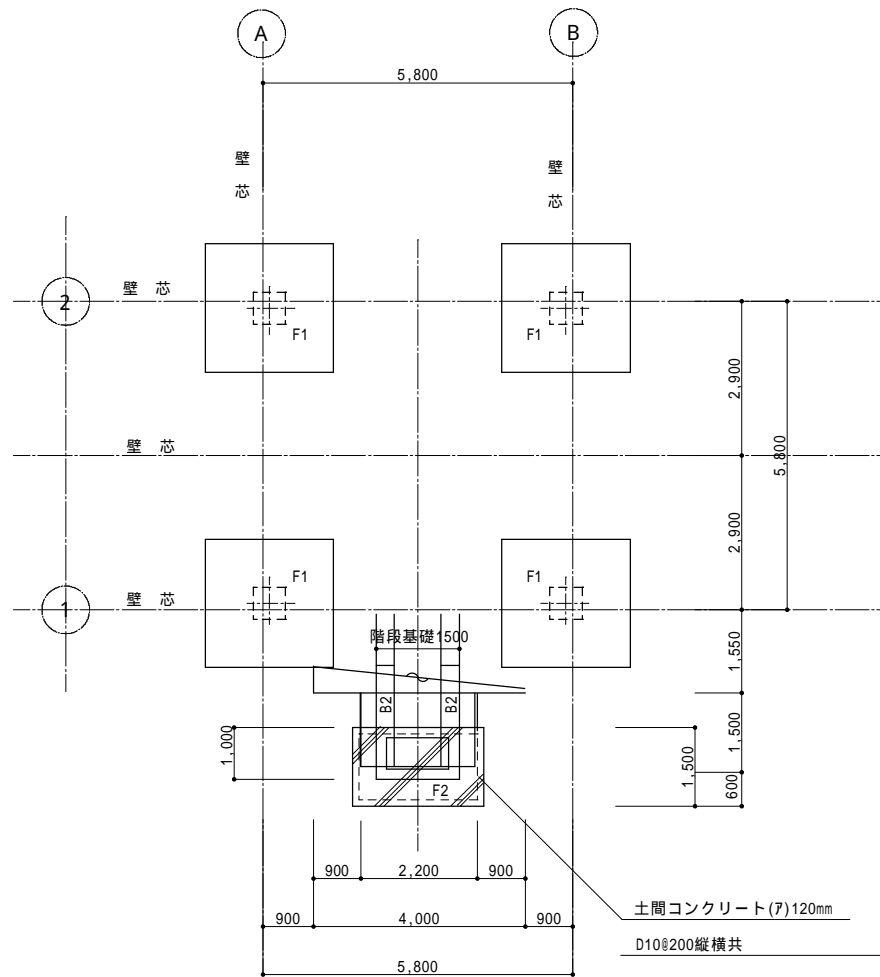
2 2 . 3 図

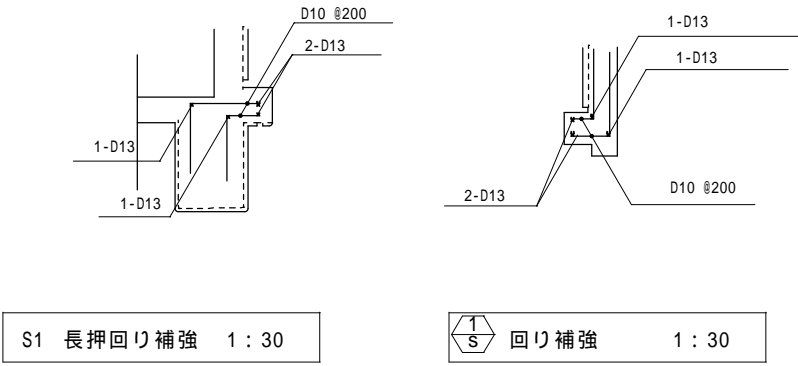
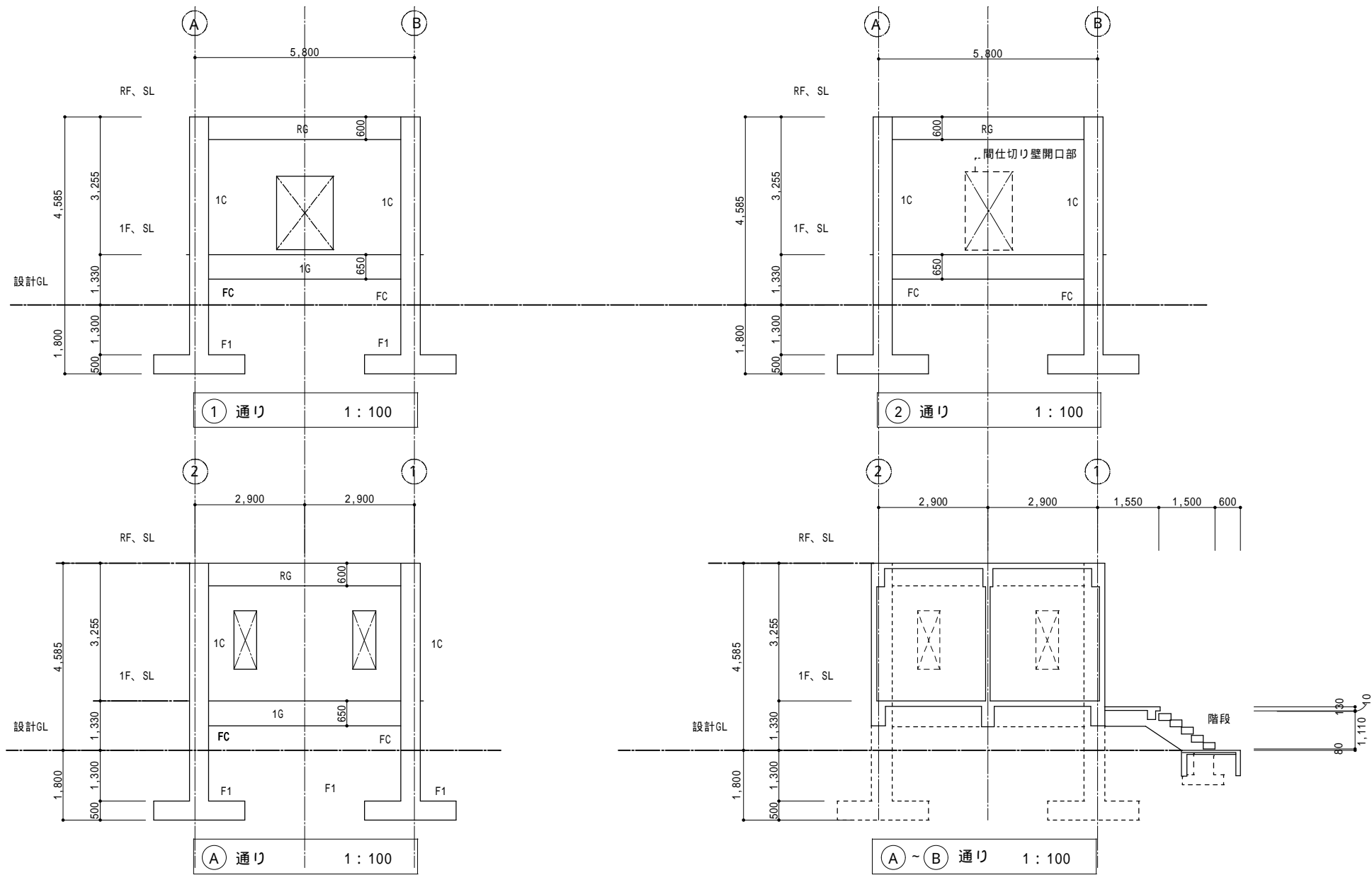
2 3 その他

- 伸縮継ぎ手等については、別途詳細図による。

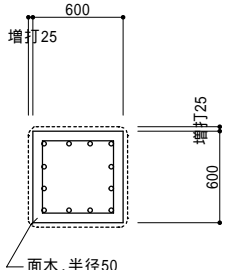
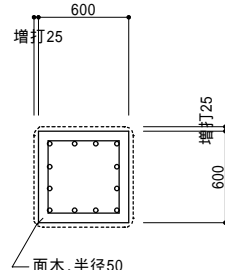
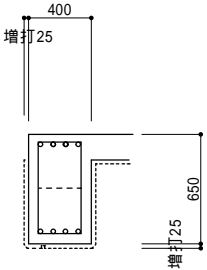
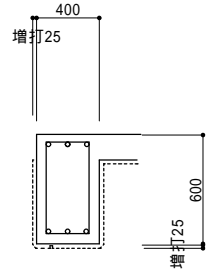
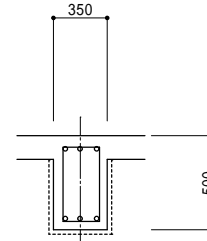
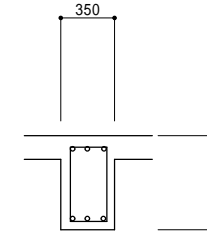

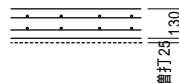


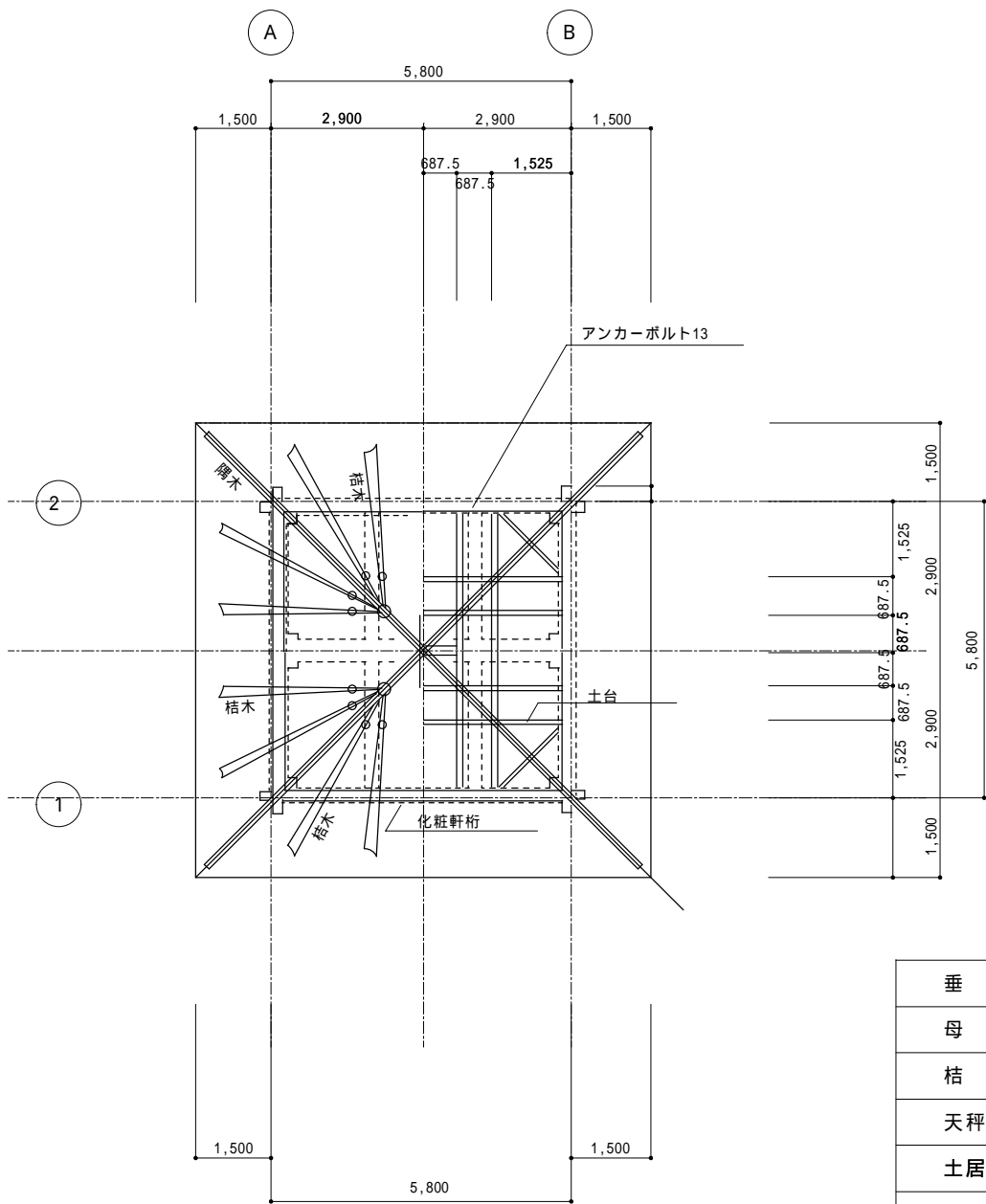
【コンクリート】 温度補正を行う事			
躯体コンクリート	FC-24	(24-15-25) 基礎	(24-18-25) 躯体
土間コンクリート	FC-21	鉄筋 (SD30)@200 縦横共 (21-15-25)	
捨てコンクリート	FC-16	(18-15-25)	





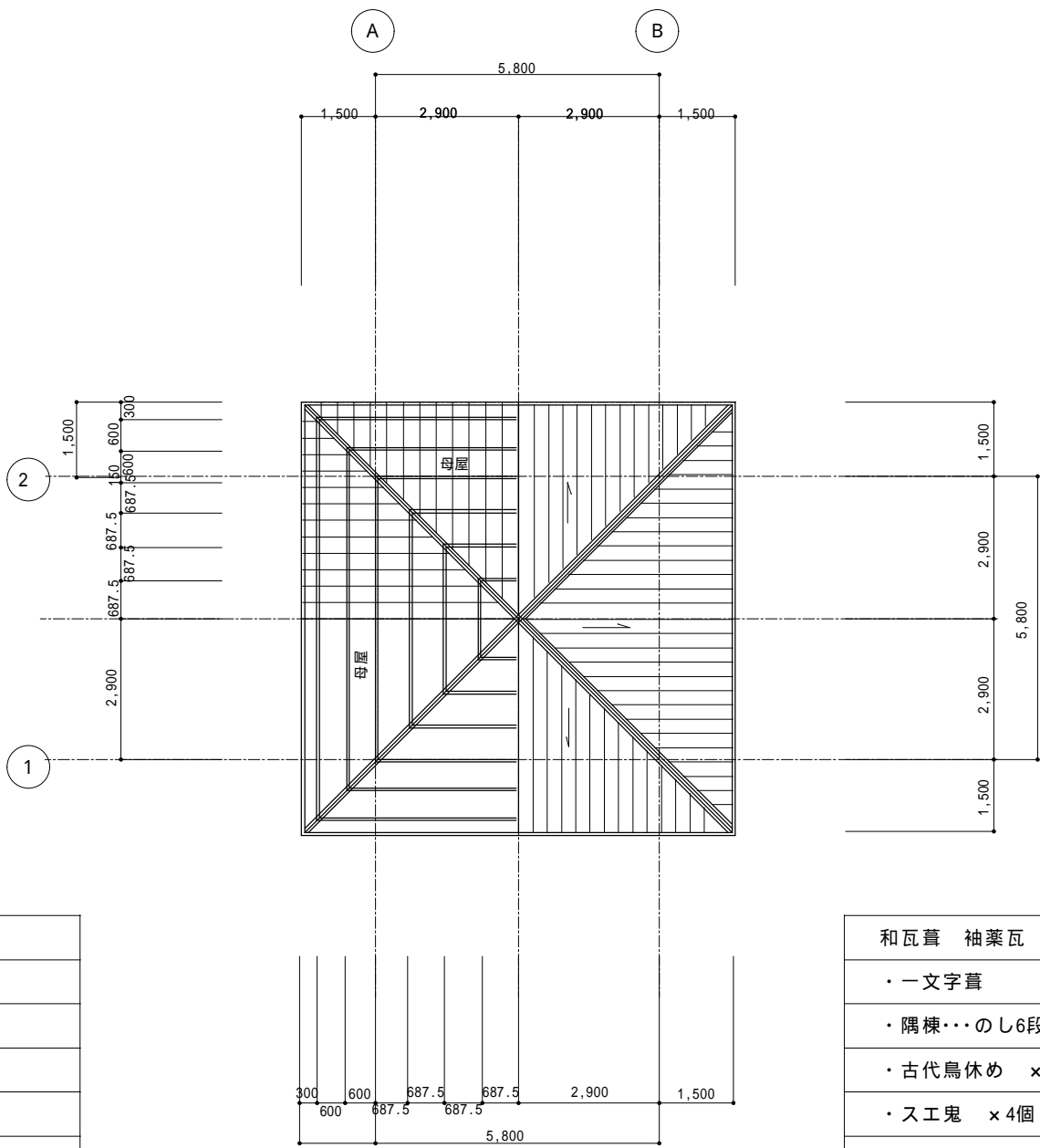
符 号	B2(階段)	B3(踊り場)
形 状		
上 端 筋	3-D19	2-D19
下 端 筋	3-D19	2-D19
スターラップ	D10 #200	D10 #200

S=1.30									
符 号	FC	1C	符 号	1G	RG	B1	B2	W(壁)	S1 . S2 (スラブ)
形 状			形 状						
主 筋	12-D22	12-D22	上端筋	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D19	壁厚 150	スラブ厚 130
フ - プ	D13 @100	D13 @100	下端筋	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D19	縦筋 D10 @200(ダブル)	縦筋 D13 @200(ダブル)
			スターラップ	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	横筋 D10 @200(ダブル)	横筋 D10 @200(ダブル)
			腹 筋	2-D10 巾止め筋 D10@1000	2-D10 巾止め筋 D10@1000			開口補強 4-D13	開口補強 4-D13



(参考)
小屋伏図 1 : 100

垂 木	45 × 54@ 360
母 屋	90 × 90@ 690
桔 木	120 × 150
天秤梁	105 × 150
土居桁	120 × 120
化粧軒桁	200 × 200(アンカーボルト13 × 450L)
土 台	105 × 105(アンカーボルト13 × 450L) (一部、120 × 120)
小屋束	105 × 105
小屋束(母屋受)	90 × 90@ 687.5
中心束	180 × 180
小屋貫	24 × 90
隅 木	120 × 150
火打土台	105 × 105/2 ボルト13 締め

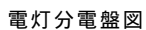


(参考)
小屋・屋根伏図 1 : 100

和瓦葺 袖薬瓦 銀黒色
・一文字葺
・隅棟・・・のし6段積
・古代鳥休め × 4個
・スエ鬼 × 4個
・雀返し

○ 小 屋 組 み	・既存小屋組み再利用...現地仮置き小屋組み取り付け・補修・再利用

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書					. 特記事項							. 機器取付高							
工事概要		倉 庫 （収蔵庫） 新 築 工 事			<div>1 . スイッチ , コンセント 埋込スイッチ , コンセントは、大角形とする。</div> <div>2 . フラッシュプレート プレートは、樹脂製とする。</div> <div>3 . 蛍光灯 高力率型、省電力型とする。</div> <div>4 . 照明器具の取付 蛍光灯 F L 2 0 W * 2、F L 4 0 W 以上、及び H I D 灯の取付には、 6 mm 以上の吊りボルトを使用のこと。</div> <div>5 . 接地工事 盤及び金属管類には、必ず接地工事を施すこと。</div> <div>6 . 接地極 D 種接地工事の接地極は、10mm 1000mm 以上を使用する。</div> <div>7 . 幹線の表示 幹線等には、行く先を書いた札を取り付ける。</div> <div>8 . 塗装 露出配管及びボックス類は、全て塗装 O P 2 回塗りとする。</div> <div>9 . 予備線 空配管には、全てビニル被覆鉄線を挿入しておく。</div>							機器取付高さは、特に指示なき場合下表を原則とする。							
3 . 建物概要		1 . 倉 庫 （収蔵庫）										名 称		取付高（mm）		名 称		取付高（mm）	
	2 .			「電灯、動力」								計 量 器	地上＋上端	1800	「火災報知」	受信機、副受信機	地上＋操作部 800-1500		
	3 .											引込用開閉器	床上＋上端	1800		電 鈴	床上＋中心 2300		
	4 .											分 電 盤		1900		総合盤、発信器	800-1500		
	5 .				ブラケット（洗面器）	鏡 上	150	感知器試験器	800-1500										
					スイッチ	床上＋中心	1300	「電鈴、表示」	呼出ブザー 壁付押釦 表示盤	床上＋中心 2300 300 2300									
4 . 工事種目	1 . 受変電設備工事	•	7 . ﾋﾙﾋﾞ'共聴設備工事	•	コンセント（一般）	300	「電気時計、拡声、テレビ」					壁掛スピーカー アッテネーター 壁掛子時計 テレビ端子（一般） テレビ端子（和室）	床上＋中心 2300 1300 2300 300 150						
	2 . 自家発電設備工事	•	8 . 放送時計設備工事	•	コンセント（台上）	台上＋中心 150													
	3 . 幹線動力設備工事	•	9 . 火災報知設備工事	•	コンセント（和室）	たたみ上 150													
	4 . 電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備工事	•	1 0 . トイレ呼出設備工事	•	手元開閉器	床上＋中心 1500													
	5 . 照明器具設備工事	•	1 1 . 非常警報設備工事	•	壁掛型制御盤	床上＋上端 1900													
. 一般事項					. 工事区分							. 設備機材等指定							
					工事内容 \ 工事種別		電 気	機 械	建 築	そ の 他	備 考								
1 . 共通仕様	本工事は、前記工事種目に対する電気設備工事を施工する物に於いて、別紙図面並びに本特記仕様書に依る他、電気事業法に基づく「電気設備技術基準」、電力会社に於ける「内線規定」、建設大臣官房庁営繕部による「電気設備工事共通仕様書」、「電気設備工事標準図」（各最新版）、並びに消防法令、その他関係法令に準拠し、施工するものとする。	工事内容																	
		壁、床のスリー及び箱入れ。		•	•	•	•												
2 . 疑義	設計図面に記載がなくても、法規上、技術上、構造上必要と思われる物について	梁、基礎梁のスリーブ							•										
		機器基礎コンクリート		•	•	•	•												
3 . 事前承認	は、請負者の負担において係員の指示に従い最良の施工を行う。	はつり、穴開け補修							•										
		同上補強工事		•	•	•	•												
4 . 申請手続	本工事の電力会社及び諸官庁への手続きは、本工事請負者がすべて行い、そのための費用は、請負者の負担とする。	天井開口補強							•										
		配線、配管ビット及び蓋工事		•	•	•	•												
5 . 提出書類	請負者は、工事完了後速やかに完成図、工事写真、機器保証書、機器取扱説明書を	空調機器操作スイッチ及び取付							•										
		同上配管及び S B		•	•	•	•												
6 . 設計変更	係員の指示に従い提出すること。	エアコン内外機間の配管、配線							•										
		換気扇及び枠の取付		•	•	•	•												
7 . 優先順位	施工段階において大規模な設計変更が生じたり、又、大規模な追加工事が発生した場合には、すみやかに係員に報告すると共に追加見積書を提出する。	液面スイッチ及び取付							•										
		同上配線		•	•	•	•												
8 . 材料検査	尚、試験に要する諸費用は、請負者の負担とする。	シャッタースイッチ及び取付							•										
		同上配管及び S B		•	•	•	•												
9 . 工事保証	建物の竣工引き渡し後、 年以内において工事不良の為生じたと認められる損害は、請負者の負担で復旧する。	昇降機インターホン							•										
		同上配管及び B O X		•	•	•	•												
		同上配線							•										
		他制御機器の配管 B O X		•	•	•	•												
		同上配線							•										
		外壁ガラリ		•	•	•	•												
		煙突工事							•										
		消火器		•	•	•	•												
									•										
									•										
									•										
									•										

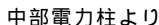


照明器具姿図



配線凡例（電灯・コンセント）

* 壁 立上げ 立下げ 普通は電線管にて保護する



電灯・コンセント設備図

1 : 5 0